

資料編

I. 方針策定までの経緯	88
II. 市民意見把握の取り組み	96
(1) 平成 29 年度第 4 回市民意識調査	96
(2) スポーツ関係団体等アンケート調査	99
(3) 市民ワークショップ	112
III. 施設情報一覧表	116
IV. パブリックコメント手続き	137
(1) 意見募集実施の概要	137
(2) パブリックコメントの内訳	137
(3) 意見にもとづく当初案からの変更点	137

I. 方針策定までの経緯

■ 検討経緯

平成 30 年(2018 年) 1 月	平成 29 年度第 4 回市民意識調査
平成 30 年(2018 年) 2 月	スポーツ関係団体アンケート調査
平成 30 年(2018 年) 7 月	市民ワークショップ実施
平成 30 年(2018 年) 7 月	平成 30 年度 第 1 回 札幌市スポーツ施設配置・活用計画検討委員会(以下「検討委員会」)
平成 30 年(2018 年) 10 月	平成 30 年度 第 2 回検討委員会
平成 30 年(2018 年) 11 月	平成 30 年度 第 3 回検討委員会
平成 30 年(2018 年) 11 月	平成 30 年度 第 4 回検討委員会
平成 30 年(2018 年) 12 月	平成 30 年度 第 5 回検討委員会
平成 31 年(2019 年) 2 月	平成 30 年度 第 6 回検討委員会
令和元年(2019 年) 7 月	令和元年度 第 1 回検討委員会
令和元年(2019 年) 11 月	令和元年度 第 2 回検討委員会
令和 3 年(2021 年) 1 月	令和 2 年度 第 1 回検討委員会(書面会議)
	パブリックコメント
	札幌市スポーツ施設配置活用実施方針 策定

■ 検討委員会名簿

(五十音順、敬称略)

役 職	所 属	氏 名
委員長	一般財団法人 札幌市スポーツ協会 名誉会長	霜 觸 寛
副委員長	北海道教育大学札幌校 教授	石澤 伸弘
委員	一般社団法人 札幌市障がい者スポーツ協会 会長	浅香 博文
委員	北海学園大学工学部建築学科 教授	石橋 達勇
委員	北海道大学大学院工学研究院 准教授	小篠 隆生

平成 30 年度 札幌市スポーツ施設配置・活用計画検討委員会のまとめ（抜粋）

1. 概要

札幌市では、人口増加や都市化が急速に進行する中で、昭和 47 年の冬季オリンピックの開催や、政令指令指定都市への移行などを契機に、地下鉄や公共施設といった都市基盤施設を充実させてきました。体育館や温水プールなどのスポーツ施設についても、こうした中で、市民の健康への関心の高まりに合わせ、短期間に集中的に充実させてきました。

その後、人口の増加は緩やかとなり、将来的には札幌市の人口も減少することが予想されています。また、今後、同時期に相次いで整備された札幌市のスポーツ施設は、老朽化が進行し、一斉に建替時期を迎えることが予想されます。

このため、これまでのように新たなスポーツ施設を次々に整備できる状況ではなく、施設総量を抑制することも真剣に考えなければなりません。

一方、スポーツは、疾病を予防し、メンタルヘルスや生活の質の改善などの効果をもたらすことが認められるなど、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものと考えられ、スポーツをする機会を確保することは、高齢化する社会において益々重要性を増しています。

本委員会は施設総量を抑制しながらも、市民のスポーツをする機会を確保するという課題を念頭に、市が所有するスポーツ施設の中でも、一般の市民の利用が多い施設に重点を置き、体育館や温水プールなどの屋内施設に加え、サッカーやテニス、野球などの屋外施設の将来的なあり方について議論しました。

議論の結果、本委員会ではいくつかの点で、これまでの考え方を見直し、「新たな考え方」が必要であるとの結論に至りました。

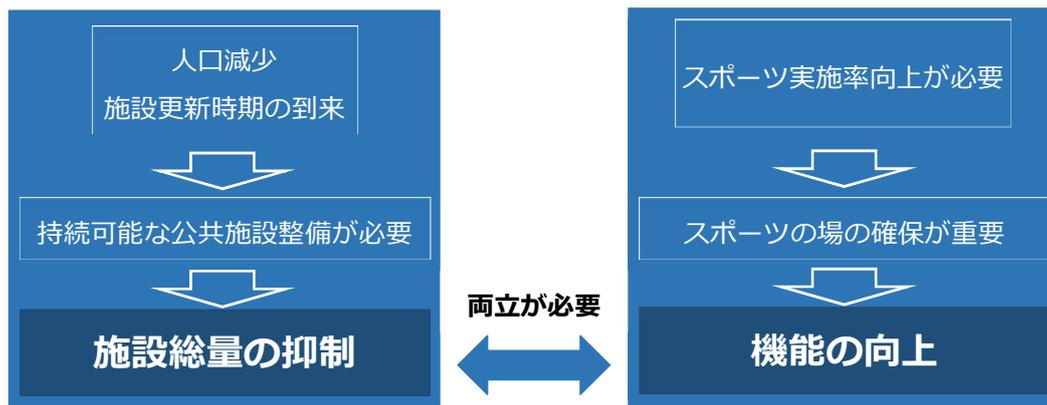
例えば、人口や年齢構成、交通利便性、民間施設の立地状況などのスポーツ施設を取り巻く環境は各区で異なることから、これまで体育館などで目指してきた 1 区 1 館といった、画一的な考え方は、全面的に見直すべきだと考えます。真に効率的な施設配置を考えるためには、こうしたこれまでの考え方に固執することなく、「新たな考え方」で一から効果的な配置を考え直すことが必要です。

また、施設総量の抑制とスポーツをする場の確保を両立するためには、スポーツ施設以外の公共施設や、民間事業者との連携を最大限活用することが必要だと考えます。このためには、それぞれの施設を所管する部局だけの目的だけでなく、市全体の視点から市民の利益を追求する必要があります。更に、単にスポーツ施設の効率だけでなく、駅周辺のまちづくりの中での集客交流施設としての役割や全市的視点からの財政の健全性を考慮するなど、都市計画部門や財政部門などの他部局の協力も必要であり、縦割りの考えを改め、部署を横断し全庁的な議論をする「新たな考え方」が不可欠です。

将来、人口規模などの社会情勢に見合った、持続可能な施設規模としながらも、オリンピック・パラリンピックなどの国際大会を初めとした競技機能や、高齢化に伴ってますます重要性を増す運動・健康づくり機能を担う施設環境を目指すには、多くの知恵が必要になります。今後の市役所内部での議論、更には民間企業や市民を含めた市役所の枠を超えた議論に向けて、本委員会の議論がその一助となることを望みます。

2. 将来的な課題

- 札幌市の人口は今後、減少傾向に転じることが予想されており、財政面からも、市税収入等の落ち込み、社会保障費の増加が予想されることに加え、今後、人口増加に伴って集中的に整備してきた施設の更新時期が一齐に到来することから「施設総量の抑制」が必要だと考えられます。
- 一方、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤として、誰もが日常的にスポーツに親しむ機会を充実し、スポーツ参画人口の拡大を図るための場を確保することが重要であり、スポーツをする場の「機能の向上」を目指す必要があります。
- このため、スポーツ施設配置・活用計画は、市有建築物の配置基本方針の考え方を十分に踏まえた計画とするとともに、今後は上記のこうした課題を両立するために役立つ計画とすることが必要です。



3. 計画の基本理念

- 「将来的な課題」を踏まえ、今後、施設配置や活用を検討する上での基本理念を以下のとおりとすることを提言します。

<基本理念>

スポーツを通じて「共生のまち」を支え、未来へつなぐ札幌型施設環境の実現

<計画目標>

- 人口減少など、変化する社会情勢の中でも持続可能な施設配置を実現する。

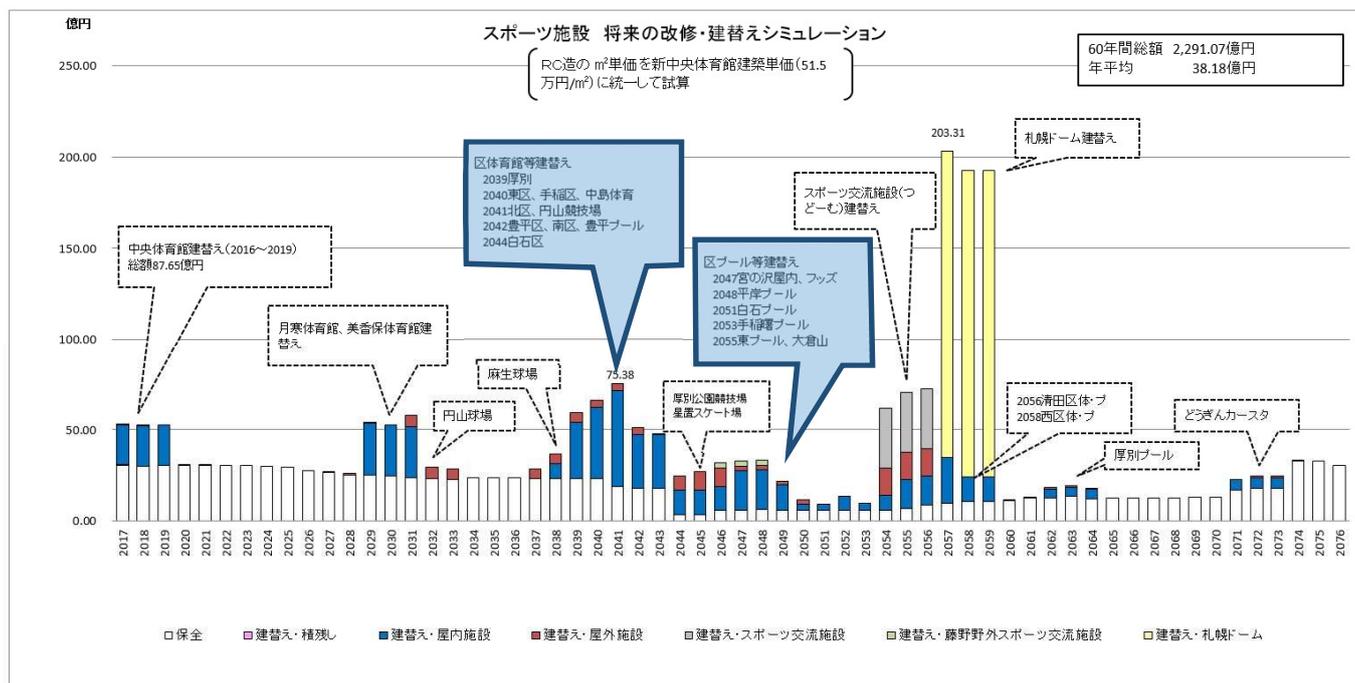
⇄ 両立が必要

- 誰もがスポーツを楽しみ、健康や生きがいを得られるスポーツ環境を実現する。
- 共生社会^{※6}を実現し、経済や地域の活性化に貢献できるスポーツ環境を実現する。
- ウィンタースポーツ拠点としてふさわしいスポーツ環境を確保する。

※6 【共生社会】…誰もが相互に人格と個性を尊重して支えあい、人々の多様なあり方を相互に認め合える全員参加型の社会。

4. 施設配置・活用の基本的方向性（屋内施設）

- 既存のスポーツ施設は、長寿命化に向けた適切な維持管理を実施し、基本的に寿命を迎えるまで最大限利用することが必要です。その上で、体育館については約 20 年後、温水プールについては約 30 年後から寿命を迎える施設が本格的に増えることが予想されます。
- 今後は建替時期を迎えるまでに、公共スポーツ施設以外の施設も多目的に利用し「**(1) スポーツの場を確保**」することや、運営体制やプログラムを工夫することで「**(2) 機能向上**」を図ることを検討し、市民がスポーツをする機会を増やす工夫をする必要があると考えます。
- その上で、適切なスポーツ環境の確保が図られれば、公共スポーツ施設以外の施設と役割分担をし、「**(3) 効率的な施設整備**」によりスポーツ施設の利便性や機能性を高め、利用しやすい施設とした上で、施設の総量を抑制することができると考えます。



(1) スポーツをする場の確保の方向性

スポーツをする場となる可能性のある、札幌市の公共スポーツ施設以外の施設は以下が考えられます。

・ コミュニティ施設^{※19}

札幌市市有建築物の配置基本方針では「小学校区に相当する地域コミュニティエリアに、必要な機能を1つの公共施設に集約して多機能化を図り多世代交流の場を創出する」とされています。運動・健康づくり機能については、より身近な地域で確保するため、こうしたコミュニティ施設をより一層活用することを検討することが必要です。

・ 学校施設（学校開放、学校プール、大学）

札幌市では小中学校において学校教育に支障のない範囲で体育館、グラウンド、格技室、プールなどの学校体育施設を開放しており、これらの利便性向上を図ることで更なる利用促進を目指すことが考えられます。特に学校プールについては、施設の多目的化に向けた整備や、利用時期や時間、利用対象者の拡大について検討することが考えられます。また、市内の大学も体育館等の施設を所有しており、市民の運動・健康づくりや競技大会の開催等で連携を模索することも考えられます。

※19 【コミュニティ施設】…区民センター、地区センターなどの地域施設。

・ 民間施設

昨今の健康志向の高まりに応じて、24 時間利用可能であったり、利便性の高い立地のスポーツジムや体型の改善に特化した施設など、多様なニーズに対応し、特色あるサービスを提供する、様々な民間の施設が充実し、運動をする場として重要な役割を担うようになってきています。今後は公共スポーツ施設の総量を抑制する必要があり、より多くの民間施設がスポーツをする機会を提供し、その役割を果たすことが期待されます。このため、それぞれのニーズに対応した民間施設で、対価を払ってでもスポーツをしたいという市民が増えるよう意識醸成を計るなど、民間施設が運営しやすい環境作りをすることが求められます。

また、こうした施設と公共スポーツ施設との連携を模索することも、将来のスポーツ環境の確保のためには重要です。特に温水プールについては、民間施設の中に類似の機能を所有している施設も多く、現在も民間施設であるサンシャインスポーツクラブ（中央区）、北海道青少年会館コンパス（南区）の協力を得て、公的温水プールとして一般開放していることから、こうした例を先進事例とし、民間施設との連携について拡大することを検討することが考えられます。

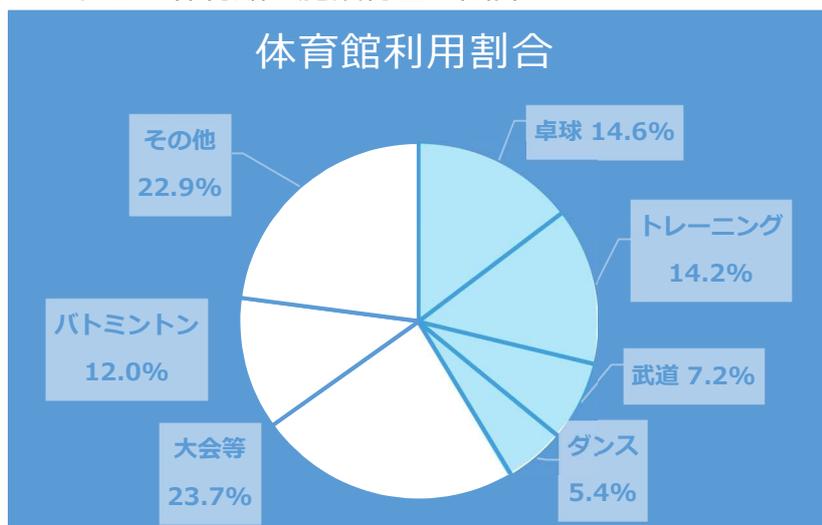
・ 近隣都市のスポーツ施設

札幌市の近郊には多くのスポーツ施設が立地しており、市民がそれらの施設を利用する、また、近郊の住民が市内の施設を利用するなど、市町村の枠にとらわれない連携が重要です。特に大規模な大会など大きな会場が必要になり、市内の施設が利用できない場合、余裕のある近隣都市の施設を利用するケースが見られます。近隣市町村と連携し、市民が市内施設を利用するのと同じように利用できる仕組みを整えたり、利用できる施設の情報をPRするなど、近隣市町村と連携し、競技団体等の利用者が利用しやすい仕組みを検討することが考えられます。

・ 公園、河川敷等の公共の場

国のスポーツ実施率向上のための行動計画では、「スポーツそのものの捉え方について、既成の概念を広げて、生活に身近なものであるという意識改革を図る。ウォーキング、散歩、ひと駅歩き、階段昇降等も含め、目的をもって楽しく体を動かせば、それがスポーツである。スポーツはアスリートのものでなく、みんなのものであるという認識の情報発信をしていく。」とされており、公園、河川敷等でウォーキングやサイクリングなどで利用しやすい環境を作ることで、スポーツをする機会を増やすことが考えられます。

<コラム> 体育館の施設総量の試算



平成 28 年度 指定管理施設利用状況総覧より集計

例えば、卓球、トレーニング、武道、ダンスなどの大きなスペースを必要とせず、コミュニティ施設^{※19}等での利用が想定できる主な競技の個人利用は、体育館利用者数全体の 41.4%を占めています。このうち、コミュニティ施設で 2/3 を担うことができると仮定すれば 27.6%の体育館を削減できると想定されます。

※19 【コミュニティ施設】…区民センター、地区センターなどの地域施設。

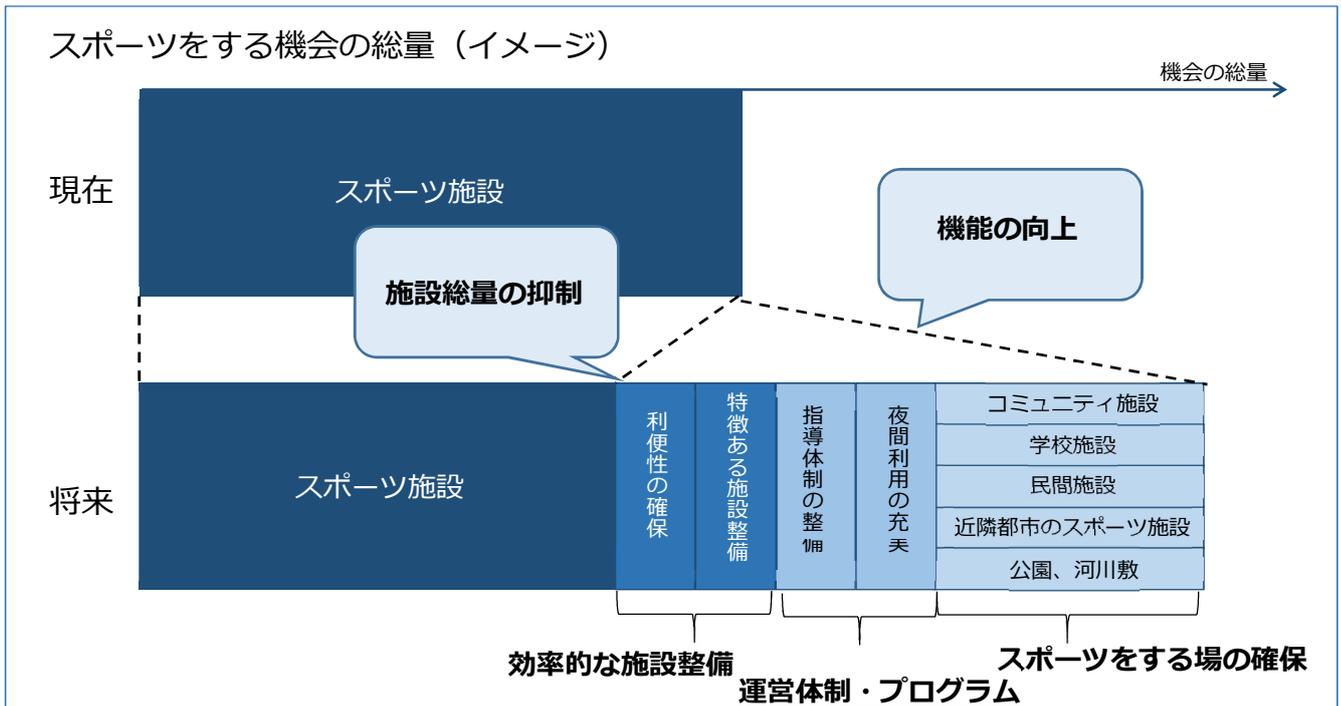
(2) 機能向上に向けた運営体制・プログラムの方向性

- ・ 指導体制の整備

スポーツの経験が少ない利用者でも、いつ行っても気軽にスポーツができる環境を整えるため、各体育館に指導体制を整備し、貸し館中心の運営から脱却することで、市民のスポーツをする機会を増やすことが考えられます。

- ・ 夜間利用の充実、管理手法の研究

仮に施設総量が減ったとしても、利用できる時間帯を増やすことができれば、スポーツをする機会を増やすことができます。このため、例えば機械による管理で24時間開放する方法など、管理手法を研究することが考えられます。



(3) 効率的な施設整備の方向性

- ・ 「施設維持」から「機能重視」へ

複数の異なる目的の施設を1つの建物にまとめ、共用部分や重複する居室を共有化する「複合化」や、施設の用途を限定せず、曜日や時間帯等を区切りながら複数目的のために使用する「多目的化」などの手法を用いて、1つの施設を多機能化することで、地域に必要な機能を維持するにとどまらず、より効率的な活用が可能になると考えられます。

- ・ 画一的な配置基準の見直し

これまでは区体育館や温水プールは1区1施設の考え方を基本に施設を配置してきましたが、効率的な施設配置を検討するための前提条件として、この考え方から完全に脱却すべきと考えます。それぞれの地域で異なる民間スポーツ施設やコミュニティ施設^{※19}の整備状況を考慮し、公共スポーツ施設の総量を抑制しながら、機能を強化するなど、地域の実情に応じた配置を論理的に考えることが必要です。

- ・ 利便性の確保

今後は高齢者が増加する中で、自家用車を利用しない市民が増加することが見込まれ、市内の公共交通ネットワークを生かし、全ての市民が利便性を享受できる施設配置を検討することが必要で

※19 【コミュニティ施設】…区民センター、地区センターなどの地域施設。

す。特に多くの市民が訪れる地下鉄や JR の駅周辺などの地域交流拠点^{※12}においては、生活を支えるより高度な都市機能や居住機能を集約することで利便性を向上させるとされており、体育館については地域交流拠点に配置することで、こうした拠点の利便性向上にも結びつくと考えられます。

・ 他施設との役割分担

全ての施設に同じような設備を備えることは重複を生み非効率となる可能性があります。競技者の比較的少ない競技では、それぞれの施設で特定の競技を行うことができる施設を備え、役割分担することで、施設を有効活用しながら、全体としては多様な使い方に対応することができると考えられます。

また、例えば運動・健康づくり機能をコミュニティ施設が担うことで、体育館では広いスペースを必要とする競技や国際的、全国的な大会開催、障がい者スポーツ等に重点を置いたり、民間プールが運動・健康づくり機能を担うことで、温水プールは競技大会や水中ウォーキングなどの高齢者に重点を置いたりすることができます。それぞれの施設の役割分担をはっきりすることで、施設総量を抑制しながら、機能を強化することが可能になると考えられます。

5. 個別施設計画の検討

- 建替時期を迎え基本方針を定めた施設については、個別施設に適用可能な手法及び今後の行動計画を検討し、個別施設計画として取りまとめます。その際には以下の点に配慮することが考えられます。

・ ライフサイクル・マネジメント

施設が建設され解体されるまでの間には、初期の建設費の数倍の費用がかかるといわれ、建物の生涯にわたる費用を抑えるためには、事前に運営や修繕更新手法を考慮し、計画を立て進めることが重要です。このため、施設計画の検討においても、施設の長寿命化、点検・保守整備・修繕更新に優れた材質や設備、更なる改善に向けたデータ収集の仕組み、資源エネルギーの有効活用等を考慮し、建設費だけでなく、運営や修繕更新の費用を含めた、施設の生涯（ライフサイクル）を通じた経済性について検討することが必要です。

また、スポーツ施設を取り巻く環境は今後、大きく変化していくことが考えられます。その際にも、施設を有効活用するため、活用方法や用途を柔軟に変えることができるよう、施設を更新する際には建築物の柱や骨組みで構造を支え、仕切り壁を簡易なものにしたスケルトン・インフィル方式^{※38}等の採用を検討することが考えられます。

・ PPP/PFI^{※39}の検討

スポーツ施設は利用料を集め運営費用の一部にあてている収益施設であるという側面があり、民間による運営のメリットが大きい施設だと考えられ、公共施設等の整備にかかるコストの縮減、経済活性化及び経済成長を実現するものとして期待されます。そのため、コスト削減に加え、事業収入の増加や附帯事業等を増やすなど、民間事業者が相当程度の裁量を有し、創意工夫やノウハウを活かすことで、事業の効率化やサービスの向上を図れるよう、サウンディング型市場調査^{※40}を実施するなど、民間活用の仕組みを検討することが考えられます。

※12 【地域交流拠点】…交通結節点である主要な地下鉄・JR駅周辺で、インフラの整備状況や機能集積の現状・動向などから地域の生活を支える主要な拠点としての役割を担う地域、または、区役所を中心に生活利便機能が集積するなどして区の拠点としての役割を担う地域。

※38 【スケルトン・インフィル方式】…建物のスケルトン（柱・梁・床等の構造躯体）と、スケルトンよりも耐用年数が短いインフィル（内外装・設備等）とを分離することで、躯体を維持したまま内外装等を何度でも入れ替えられる工法。

※39 【PPP/PFI】…PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）は官民が連携して公共サービスの提供を行う手法。PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）はPPPの代表的な手法のひとつで、民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。あくまで地方公共団体が発注者となり、公共事業として実施。

※40 【サウンディング型市場調査】…公有資産の有効活用や施策検討にあたって、検討の早い段階で、民間事業者との意見交換等を通し、事業に対して幅広く提案・意見を求める市場調査。

・ 防災・脱 CO2

スポーツ施設には災害時の避難場所としての役割を担うことが求められており、停電時でも電気を供給することができる、非常用電源やコジェネレーションや物資の備蓄など災害に備えた設備の導入について検討することが考えられます。また、CO2 削減のため、高気密な建築物とすることや特に温水プールなどでの熱の需要が高い施設では、廃熱の利用やコジェネレーション^{※41}の利用を検討することが考えられます。

・ ユニバーサルデザイン^{※25}

国籍や年齢、性別、障がいの有無に関係なく、全ての人ができるだけ使いやすいように、公共交通機関でのアクセスや施設のデザインなど、施設計画の当初から最大限の努力をはらって計画する必要があります。

6. 計画の具体化に向けた課題

- 計画の具体化に向けては、施設を新築する場合でも、既存施設を改修して利用する場合でも、まず、必要な機能の再検討と市民の利用ニーズを満たす機能性や利便性を持たせることを検討する必要があります。そして、施設自体の適正な総数と配置を同時に達成するために、企画段階において、施設の役割をもう一度見直すところから始め、十分な時間をとり、関係部署や組織との調整を図って行く必要があります。これらについては、事前に相当の調整が必要になると考えられます。

・ 施設の多目的利用に向けた課題

改修、新築を問わず、新たな市民のニーズに対応したスポーツ施設を再配置・活用する計画づくりには、今まで単一の目的に使われていた施設を、多くの目的を持ち、市民スポーツの発展を促す場として利用するため、得てしてその障壁ともなっていた設置基準等の見直しを含め、施設自体のあり方を検討する必要があります。また、同じ施設を多目的に利用するためには、本来の目的での利用との調整が必要となり、こうした仕組みについても、縦割りを見直し、部署を横断して検討する必要があります。

・ まちづくりと連動した施設整備

札幌型の公共施設を創っていくために、スポーツ施設もその一翼を担う必要があります。その時、重要になるのは、地域交流拠点への公共施設再配置の流れの中にスポーツ施設を組み込むことです。多くの地域交流拠点がある地下鉄駅周辺は利便性の高い地域であり、既に多くの建物が立地し、まとまった空地などは少なく、土地の確保は非常に困難です。しかし、地域交流拠点^{※12}においても、建物が老朽化し、建替時期が近づいている地域もあることから、スポーツ施設を地域交流拠点に配置するためには、再開発などまちづくりの機運を捉え迅速に検討を進めるとともに、地域交流拠点の集客交流やにぎわいを担う施設としての役割を果たすなど、まちづくりと連携し計画を進める必要があります。また、既存の施設が地域交流拠点の周辺に配置されている場合にも、スポーツ施設の利便性や地域交流拠点のまちづくりの中でのスポーツ施設の役割を慎重に検討する必要があります。

このため、都市計画部門とも連携し、地域交流拠点のあり方を検討する中でスポーツ施設の果たすべき役割を考えるなど、まちづくりの検討と合わせ、時間をかけて検討を進める必要があると考えます。

※12 【地域交流拠点】…交通結節点である主要な地下鉄・JR駅周辺で、インフラの整備状況や機能集積の現状・動向などから地域の生活を支える主要な拠点としての役割を担う地域、または、区役所を中心に生活利便機能が集積するなどして区の拠点としての役割を担う地域。

※25 【ユニバーサルデザイン】…文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、出来るだけ多くの人が利用できることを目指した建物・製品・情報などの設計（デザイン）。

※41 【コジェネレーション】…エンジンや燃料電池などを用いて、発電と同時に、その廃熱を利用して温熱・冷熱を取り出し、総合エネルギー効率を高めるエネルギー供給システム。

II. 市民意見把握の取り組み

(1) 平成29年度第4回市民意識調査

■ 設計

調査期間 平成30年（2018年）1月12日（金）～1月26日（金）
 調査方法 郵送法
 調査対象者 札幌市全域の18歳以上の男女5,000人
 抽出方法 住民基本台帳からの等間隔無作為抽出法

■ 回収結果

発送数 5,000通
 回収数 2,602通
 回収率 52.0%

■ 回答者の属性

		実数	比率 (%)
対象者全体		2602	52.0
性別	男性	994	38.2
	女性	1,587	61.0
	無回答	21	0.8
年齢	29歳以下	214	8.2
	30～39歳	330	12.7
	40～49歳	468	18.0
	50～59歳	452	17.4
	60～69歳	560	21.5
	70歳以上	558	21.4
	無回答	20	0.8
	居住区別	中央区	301
北区		364	14.0
東区		330	12.7
白石区		245	9.4
厚別区		178	6.8
豊平区		295	11.3
清田区		156	6.0
南区		212	8.1
西区		294	11.3
手稲区		209	8.0
無回答		18	0.7

		実数	比率 (%)	
対象者全体		2602	52.0	
職業	会社役員	81	3.1	
	会社員	651	25.0	
	公務員	103	4.0	
	自営業	99	3.8	
	パート・アルバイト	407	15.6	
	主婦・主夫	564	21.7	
	学生	75	2.9	
	無職	506	19.4	
	その他	83	3.2	
	無回答	33	1.3	
	世帯構成	単身世帯	435	16.7
		一世帯世帯	797	30.6
二世帯世帯		1,070	41.1	
三世帯世帯		110	4.2	
その他		148	5.7	
無回答		42	1.6	
同居家族		配偶者	1,601	61.5
	乳幼児	140	5.4	
	就学前児童	165	6.3	
	小学生	253	9.7	
	中学生	139	5.3	
	高校生	147	5.6	
	大学（院）・専門学校生	128	4.9	
	65才以上の高齢者	390	15.0	
	上記以外	559	21.5	
	いない	398	15.3	
無回答	81	3.1		

■ **テーマごとの設問と主な結果**（スポーツ関連部分を抜粋）

※構成比（％）は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

テーマ3 スポーツについて

札幌市では、今後の体育館、プール、ウインタースポーツ施設のあり方を検討しています。そこで、皆さまのスポーツ施設の利用状況などについてお聞きし、今後のスポーツ施設の整備の参考とさせていただきます。

問10 過去1年間にスポーツを行ったか

「行った」	58.0%
「行わなかった」	40.2%

問11 スポーツを行う場所（複数回答）

「公園、運動広場、緑地」	35.4%
「公共スポーツ施設」	27.1%
「自宅」	26.3%
「民間スポーツ施設」	24.3%
「海、山、川などの自然」	22.8%

問12 過去1年間の公共体育館利用の有無（複数回答）

「中央体育館」	2.7%
「北区体育館」	2.3%
「東区体育館」	2.5%
「白石区体育館」	1.9%
「厚別区体育館」	1.5%
「豊平区体育館」	2.0%
「清田区体育館」	2.1%
「南区体育館」	1.5%
「西区体育館」	2.9%
「手稲区体育館」	1.9%
「中島体育センター」	1.4%
「宮の沢屋内競技場」	0.6%
「美香保体育館（夏季のみ）」	0.7%
「他の公共体育館」	4.6%
「利用していない」	74.0%

問13 公共体育館配置場所の満足度

「満足している」	6.9%
「どちらかといえば満足している」	16.9%
「どちらかといえば満足していない」	11.3%
「満足していない」	9.6%
「わからない」	53.1%

問14 公共体育館配置数の満足度

「満足している」	7.3%
「どちらかといえば満足している」	16.8%
「どちらかといえば満足していない」	11.2%
「満足していない」	9.6%
「わからない」	52.9%

問 1 5 公共体育館に求めるもの（3つまで回答）

「地下鉄などの交通アクセスの利便性」	37.4%
「身近にあること」	36.5%
「利用しやすい料金設定」	35.4%
「駐車場の広さ」	28.0%
「利用しやすい開館時間」	18.8%

問 1 6 過去 1 年間の公的温水プール利用の有無（複数回答）

「厚別温水プール」	1.2%
「豊平公園温水プール」	0.9%
「平岸プール」	2.0%
「白石温水プール」	0.9%
「手稲曙温水プール」	1.3%
「東温水プール」	1.6%
「清田温水プール」	0.8%
「西温水プール」	1.6%
「サンシャインスポーツクラブ（中央区公的温水プール）」	0.6%
「札幌サンプラザ（北区公的温水プール）」	0.8%
「北海道青少年会館コンパス（南区公的温水プール）」	0.6%
「利用していない」	84.7%

問 1 7 公的温水プール配置場所の満足度

「満足している」	6.6%
「どちらかといえば満足している」	13.0%
「どちらかといえば満足していない」	8.5%
「満足していない」	8.1%
「わからない」	60.3%

問 1 8 公的温水プール配置数の満足度

「満足している」	5.7%
「どちらかといえば満足している」	13.2%
「どちらかといえば満足していない」	8.2%
「満足していない」	8.5%
「わからない」	61.3%

問 1 9 公的温水プールに求める機能（3つまで回答）

「地下鉄などの交通アクセスの利便性」	30.9%
「身近にあること」	30.2%
「利用しやすい料金設定」	29.1%
「使いやすい更衣室・シャワー設備」	23.7%
「駐車場の広さ」	22.5%

問 2 0 過去 1 年間にウィンタースポーツを行ったか

「行った」	15.7%
「行わなかった」	81.9%

調査結果の詳細は札幌市HPに掲載しています。

{http://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/citi_enq/}

(2) スポーツ関係団体等アンケート調査

■ 調査期間

平成30（2018年）年2月8日（木）～23日（金）

■ 調査対象

- (1) 札幌市体育協会加盟競技団体 53団体
- (2) 障がい者スポーツ団体 10団体
- (3) 公共スポーツ施設指定管理者・札幌市障がい者スポーツ協会 4団体

■ 調査概要

本アンケートは、上記の調査対象団体へ、これまでの団体の状況と今後の取組や考え方などについて、スポーツ推進計画の見直しの参考とすることを目的に実施した。
また、公共スポーツ施設指定管理者並びに障がい者スポーツ協会へのアンケートについては、平成29年3月にスポーツ庁より公表された「第2期スポーツ基本計画」に対して、組織の取組として重点的に実施していること、検討していることについても回答を求めた。

■ 回答状況

- (1) 回答数 49団体
 - 内訳 1 札幌市体育協会加盟競技団体 41団体
 - 2 障がい者スポーツ団体 4団体
 - 3 公共スポーツ施設指定管理者・札幌市障がい者スポーツ協会 4団体

- (2) 回答率 73.1%
 - 内訳 1 札幌市体育協会加盟競技団体 77.4%
 - 2 障がい者スポーツ団体 40.0%
 - 3 公共スポーツ施設指定管理者・札幌市障がい者スポーツ協会 100%

■ アンケート回答集計（施設関連設問のみ抜粋）

2. 「スポーツ（競技・健康維持運動）のすそ野を広げる」必要性と取り組みに関すること

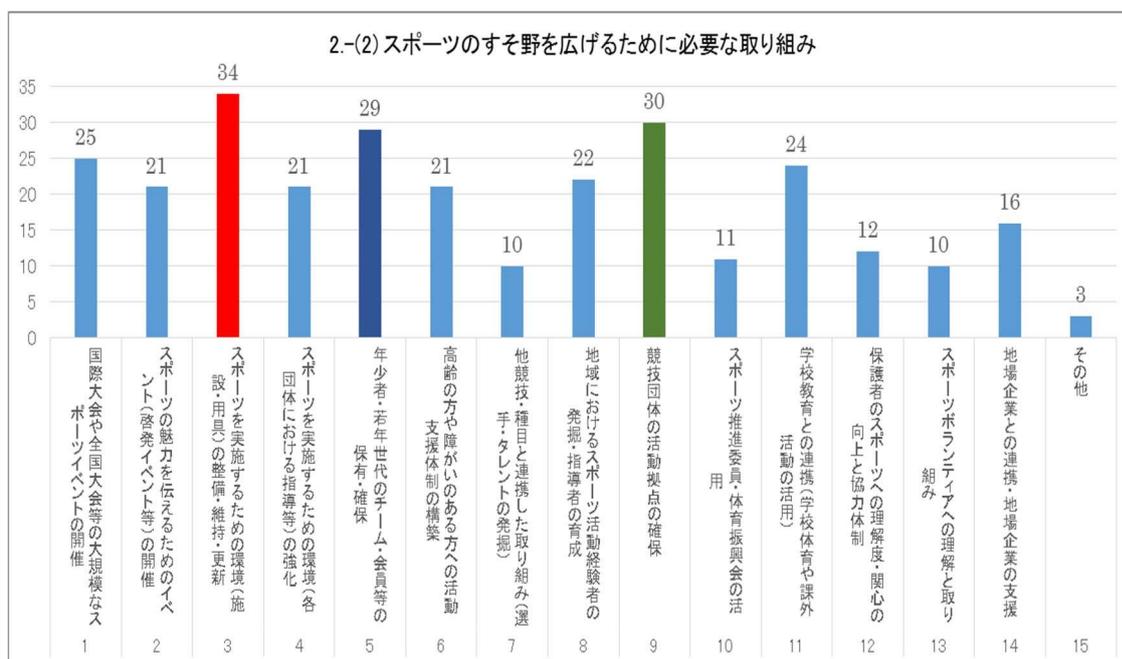
※札幌市体育協会加盟競技団体他 共通設問

(2) スポーツのすそ野を広げるために必要な取り組みとして考えられることは何か

※複数回答

- 1 国際大会や全国大会等の大規模なスポーツイベントの開催
- 2 スポーツの魅力伝えるためのイベント（啓発イベント等）の開催
- 3 **スポーツを実施するための環境（施設・用具）の整備・維持・更新**
- 4 スポーツを実施するための環境（各団体における指導等）の強化
- 5 **年少者・若年世代のチーム・会員等の保有・確保**
- 6 高齢の方や障がいのある方への活動支援体制の構築
- 7 他競技・種目と連携した取り組み（選手・タレントの発掘）
- 8 地域におけるスポーツ活動経験者の発掘・指導者の育成
- 9 **競技団体の活動拠点の確保**
- 10 スポーツ推進委員※42・体育振興会※43の活用
- 11 学校教育との連携（学校体育や課外活動の活用）
- 12 保護者のスポーツへの理解度・関心の向上と協力体制
- 13 スポーツボランティア※44への理解と取り組み
- 14 地場企業との連携・地場企業の支援
- 15 その他

【回答：48 団体/全 67 団体 回答率：71.6% 回答数：290 件 ※未回答 1 件を含む】



※42 【スポーツ推進委員】…スポーツ基本法第 32 条に基づき、市町村教育委員会が委嘱する非常勤の職員（任期 2 年）各地域のスポーツ関係団体と連携を図り、全市及び各区スポーツ事業等の企画・運営及び指導を行うなど、地域スポーツの振興に取り組んでいる。

※43 【体育振興会】…地域のスポーツ振興を図ることを目的として、学校を拠点として自主運営する地域住民による組織。

※44 【スポーツボランティア】…スポーツイベントや大会の運営のほかにも、スポーツサークルやクラブチームの運営、指導者や審判、地域のスポーツ活動等のボランティアとして携わることを目指す。

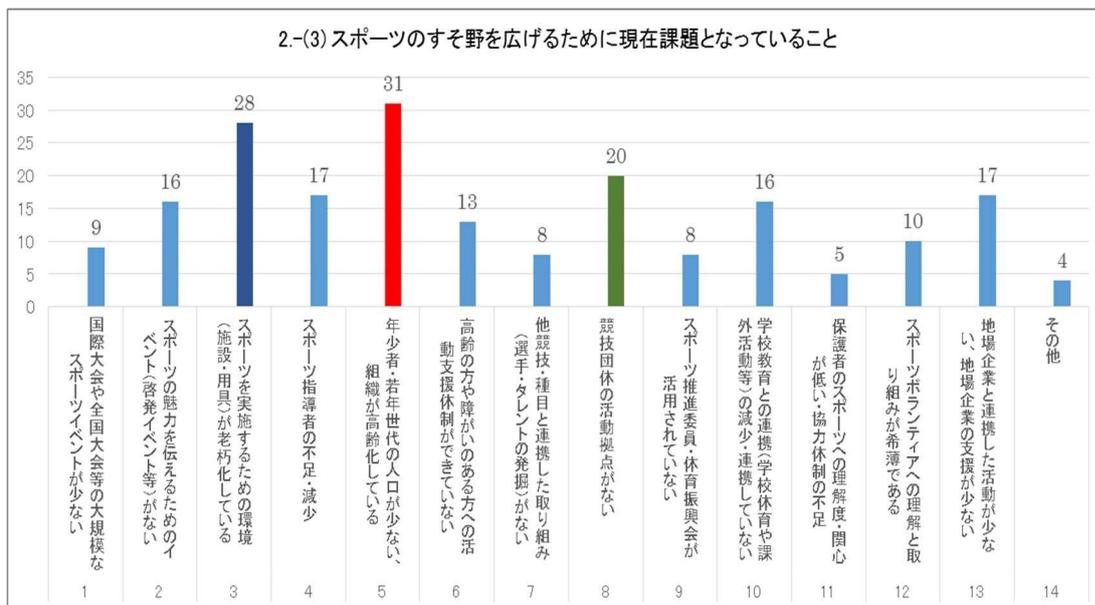
2. 「スポーツ（競技・健康維持運動）のすそ野を広げる」必要性と取り組みに関すること

※札幌市体育協会加盟競技団体他 共通設問

(3) スポーツのすそ野を広げるために現在課題となっていることは何か ※複数回答

- 1 国際大会や全国大会等の大規模なスポーツイベントが少ない
- 2 スポーツの魅力を伝えるためのイベント（啓発イベント等）がない
- 3 **スポーツを実施するための環境（施設・用具）が老朽化している**
- 4 スポーツ指導者の不足・減少
- 5 **年少者・若年世代の人口が少ない、組織が高齢化している**
- 6 高齢の方や障がいのある方への活動支援体制ができていない
- 7 他競技・種目と連携した取り組み（選手・タレントの発掘）がない
- 8 **競技団体の活動拠点がなくない**
- 9 スポーツ推進委員^{※42}や体育振興会^{※43}が活用されていない
- 10 学校教育（学校体育や課外活動等）の減少・連携していない
- 11 保護者のスポーツへの理解度・関心が低い・協力体制の不足
- 12 スポーツボランティア^{※44}への取り組みが希薄である
- 13 地場企業と連携した活動が少ない、地場企業の支援が少ない
- 14 その他

【回答：49 団体/全 67 団体 回答率：73.1% 回答数：202 件】



※42 【スポーツ推進委員】…スポーツ基本法第 32 条に基づき、市町村教育委員会が委嘱する非常勤の職員（任期 2 年）各地域のスポーツ関係団体と連携を図り、全市及び各区スポーツ事業等の企画・運営及び指導を行うなど、地域スポーツの振興に取り組んでいる。

※43 【体育振興会】…地域のスポーツ振興を図ることを目的として、学校を拠点として自主運営する地域住民による組織。

※44 【スポーツボランティア】…スポーツイベントや大会の運営のほかにも、スポーツサークルやクラブチームの運営、指導者や審判、地域のスポーツ活動等のボランティアとして携わることを目指す。

6. 公共スポーツ施設等の利用状況について ※札幌市体育協会加盟競技団体への設問

1 貴団体が利用している公共スポーツ施設について、該当する番号すべてに○をつけてください。

(1) 体育館施設 ※複数回答

- 1 **中央体育館** 2 北区体育館 3 **東区体育館** 4 **白石区体育館**
- 5 厚別区体育館 6 豊平区体育館 7 清田区体育館（プール併設）
- 8 南区体育館 9 **西区体育館（プール併設）** 10 手稲区体育館
- 11 **中島体育センター** 12 宮の沢屋内競技場 13 美香保体育館（夏季）
- 14 北海きたえーる（北海道立総合体育館）
- 15 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ（真駒内公園屋内競技場・夏季）
- 16 **利用していない**

【回答：37 団体/全 53 団体 回答率：69.8% 回答数：163 件 ※未回答 4 件含む】

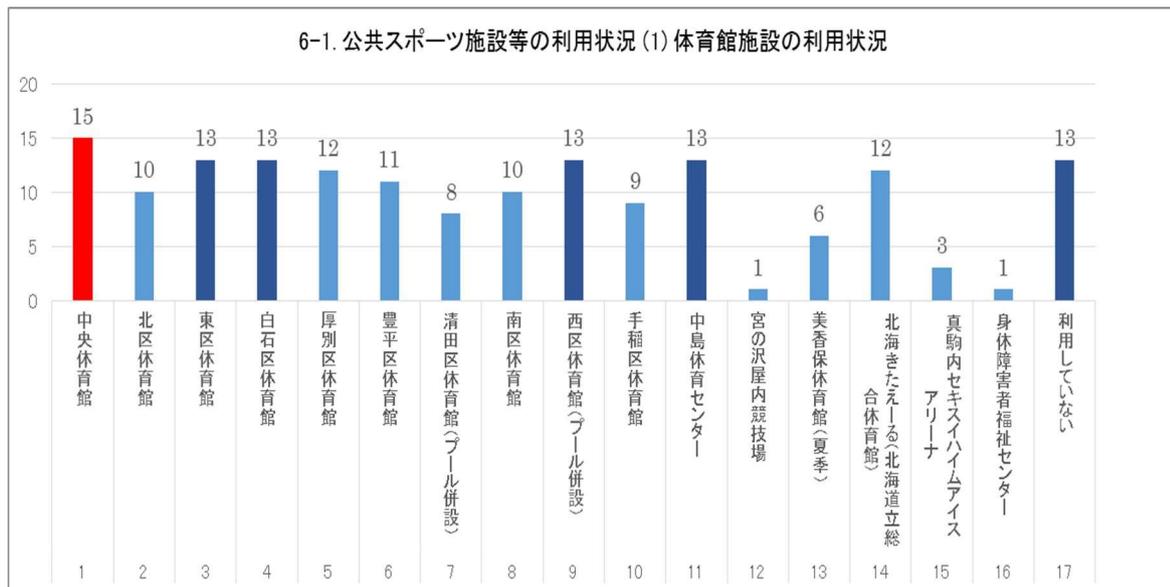
6. 公共スポーツ施設等の利用状況について ※障がい者スポーツ団体への設問

1 貴団体が利用している公共スポーツ施設について、該当する番号すべてに○をつけてください。

(1) 体育館施設 ※複数回答

- 1 中央体育館 2 北区体育館 3 東区体育館 4 白石区体育館
- 5 厚別区体育館 6 豊平区体育館 7 清田区体育館（プール併設）
- 8 南区体育館 9 西区体育館（プール併設） 10 手稲区体育館
- 11 中島体育センター 12 宮の沢屋内競技場 13 美香保体育館（夏季）
- 14 北海きたえーる（北海道立総合体育館）
- 15 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ（真駒内公園屋内競技場・夏季）
- 16 **身体障害者福祉センター** 17 **利用していない**

【回答：4 団体/全 10 団体 回答率：40.0% 回答数：4 件】



6. 公共スポーツ施設等の利用状況について

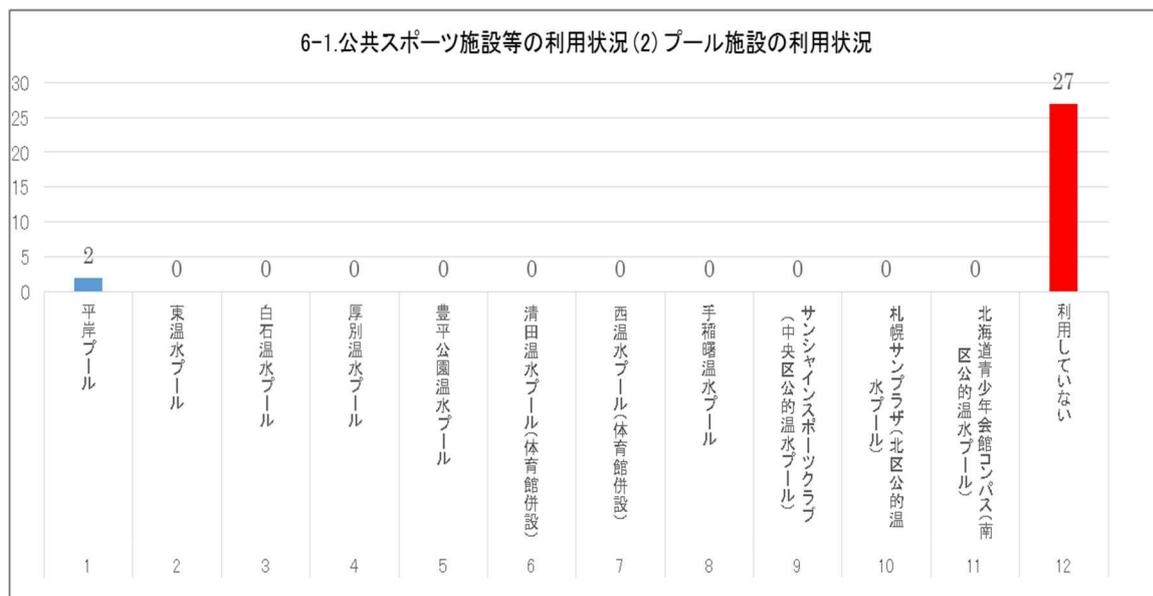
※札幌市体育協会加盟競技団体・障がい者スポーツ団体 共通設問

1 貴団体が利用している公共スポーツ施設について、該当する番号すべてに○をつけてください。

(2) プール施設 ※複数回答

- 1 平岸プール 2 東温水プール 3 白石温水プール 4 厚別温水プール
- 5 豊平公園温水プール 6 清田温水プール（体育館併設）
- 7 西温水プール（体育館併設） 8 手稲曙温水プール
- 9 サンシャインスポーツクラブ（中央区公的温水プール）
- 10 札幌サンブラザ（北区公的温水プール）
- 11 北海道青少年会館コンパス（南区公的温水プール） 12 **利用していない**

【回答：29 団体/全 63 団体 回答率：46.0% 回答数：45 件 ※未回答 16 件を含む】



6. 公共スポーツ施設等の利用状況について

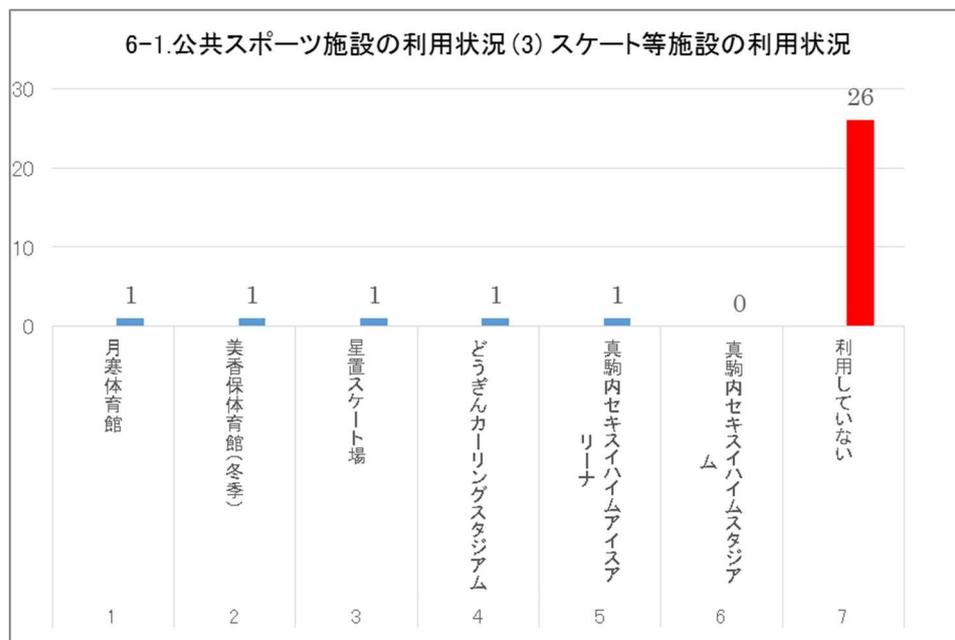
※札幌市体育協会加盟競技団体・障がい者スポーツ団体 共通設問

1 貴団体が利用している公共スポーツ施設について、該当する番号すべてに○をつけてください。

(3) スケート等施設 ※複数回答

- 1 月寒体育館
- 2 美香保体育館（冬季）
- 3 星置スケート場
- 4 どうぎんカーリングスタジアム
- 5 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ（真駒内公園屋内競技場・冬季）
- 6 真駒内セキスイハイムスタジアム（真駒内公園屋外競技場・冬季）
- 7 **利用していない**

【回答：28 団体/全 63 団体 回答率：44.4% 回答数：48 件 ※未回答 17 件を含む】



6. スポーツ施設等の利用状況について

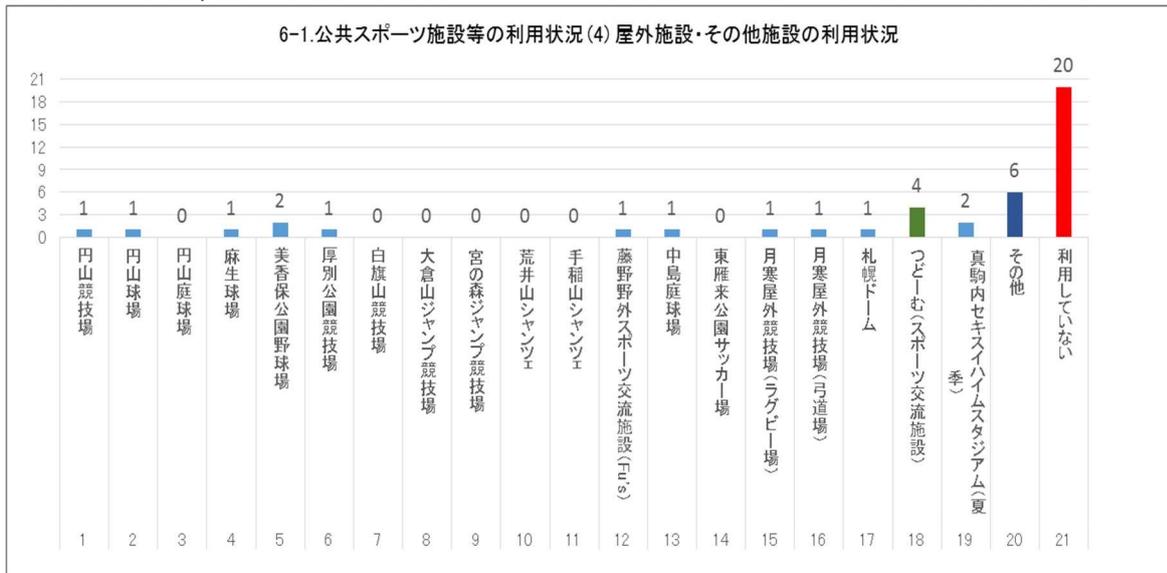
※札幌市体育協会加盟競技団体・障がい者スポーツ団体 共通設問

1 貴団体が利用している公共スポーツ施設について、該当する番号すべてに○をつけてください。

(4) 屋外施設・その他 ※複数回答

- 1 円山競技場 2 円山球場 3 円山庭球場 4 麻生球場
- 5 美香保公園野球場 6 厚別公園競技場 7 白旗山競技場
- 8 大倉山ジャンプ競技場 9 宮の森ジャンプ競技場 10 荒井山シャンツエ
- 11 手稲山シャンツエ 12 藤野野外スポーツ交流施設 (Fu's)
- 13 中島庭球場 14 東雁来公園サッカー場
- 15 月寒屋外競技場 (ラグビー場) 16 月寒屋外競技場 (弓道場)
- 17 札幌ドーム 18 つどーむ (スポーツ交流施設)
- 19 真駒内セキスイハイムスタジアム (真駒内公園屋外競技場・夏季)
- 20 その他 21 **利用していない**

【回答：35 団体/全 63 団体 回答率：55.6% 回答数：53 件 ※未回答 10 件を含む】



6. 公共施設スポーツ施設等の利用状況について

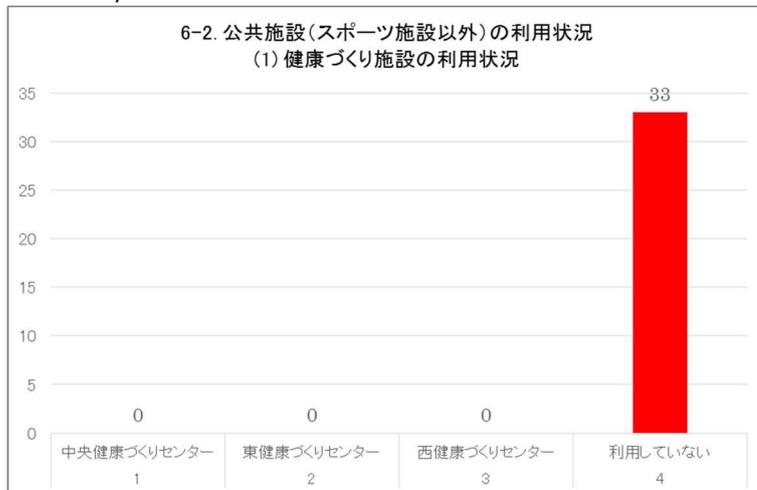
※札幌市体育協会加盟競技団体・障がい者スポーツ団体 共通設問

2 貴団体が利用している公共施設 (スポーツ施設以外) について、該当する番号すべてに○をつけるか、施設名をご記入ください。

(1) 健康づくり施設 ※複数回答

- 1 中央健康づくりセンター 2 東健康づくりセンター 3 西健康づくりセンター
- 4 **利用していない**

【回答：33 団体/全 63 団体 回答率：52.4% 回答数：45 件 ※未回答 12 件を含む】



6. スポーツ施設等の利用状況について

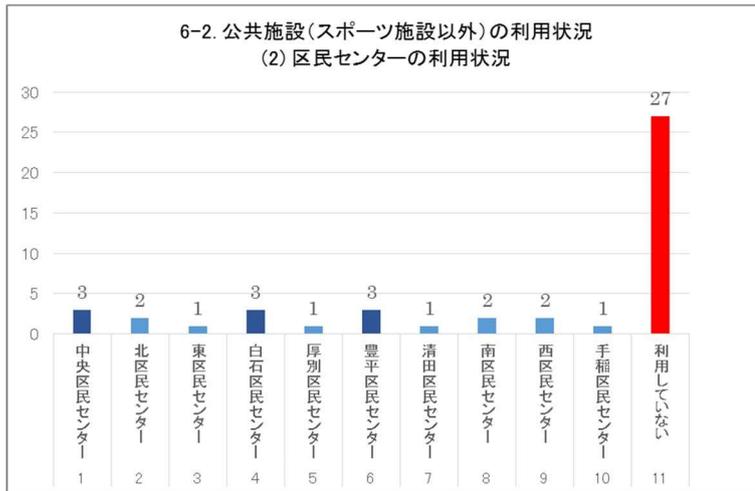
※札幌市体育協会加盟競技団体・障がい者スポーツ団体 共通設問

2 貴団体が利用している公共施設（スポーツ施設以外）について、該当する番号すべてに○をつけるか、施設名をご記入ください。

(2) 区民センター ※複数回答

- 1 中央区民センター 2 北区民センター 3 東区民センター 4 白石区民センター
- 5 厚別区民センター 6 豊平区民センター 7 清田区民センター
- 8 南区民センター 9 西区民センター 10 手稲区民センター
- 11 利用していない

【回答 29 団体/全 63 団体 回答率：46.1% 回答数：57 件 ※未回答 11 件を含む】



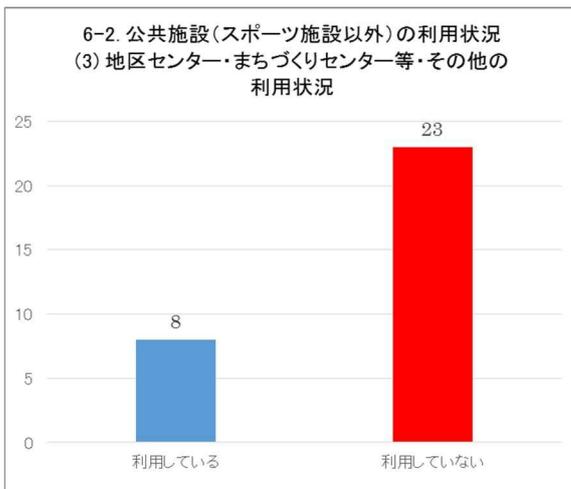
6. スポーツ施設等の利用状況について

※札幌市体育協会加盟競技団体・障がい者スポーツ団体 共通設問

2 貴団体が利用している公共施設（スポーツ施設以外）について、該当する番号すべてに○をつけるか、施設名をご記入ください。

(3) 地区センター・まちづくりセンター等・その他 ※複数記述回答

【利用団体数：8 団体 未利用団体：23 団体】



6. スポーツ施設等の利用状況について

※札幌市体育協会加盟競技団体への設問

2 貴団体が利用している公共施設（スポーツ施設以外）について、該当する番号すべてに○をつけるか、施設名をご記入ください。

(4) 学校開放校（センター管理校・自主管理校）

- 1 利用している 2 **利用していない**

【回答 35 団体/全 53 団体 回答率：66.0% 回答数：41 件 ※未回答 11 件を含む】

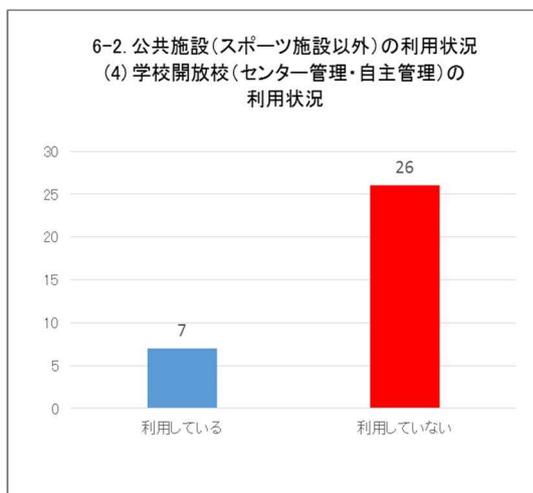
【利用団体数：7 団体

未利用団体：26 団体】

【回答のあった学校開放施設】

札幌緑小学校、苗穂小学校、東白石小学校、
新陵東小学校、円山小学校、

※その他各クラブ単位で各地区小学校・中学校を利用されている団体あり
(学校名等不明)



6. スポーツ施設等の利用状況について

※障がい者スポーツ団体への設問

2 貴団体が利用している公共施設（スポーツ施設以外）について、該当する番号すべてに○をつけるか、施設名をご記入ください。

(4) 学校開放校（みなみの杜高等支援学校・センター管理校・自主管理校）

※複数記述回答

①市立みなみの杜高等支援学校について

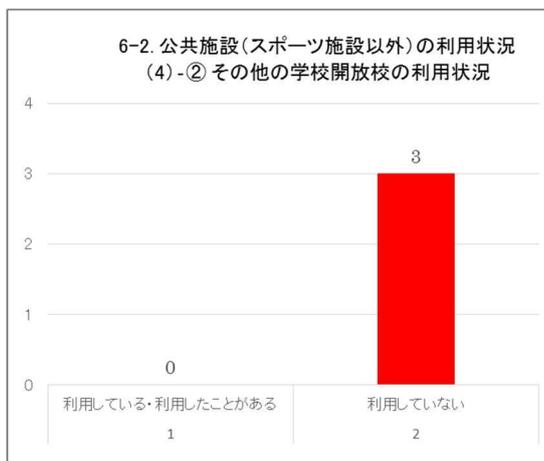
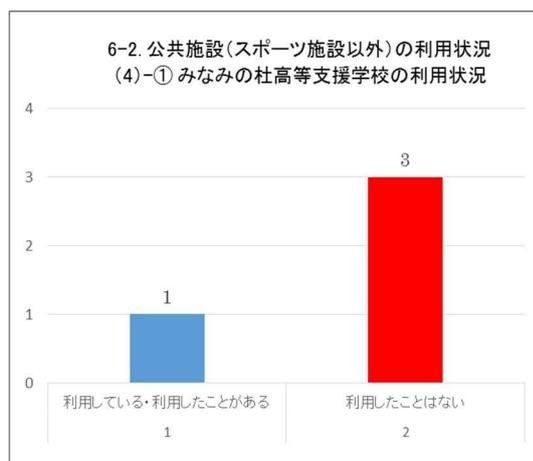
- 1 利用している・利用したことがある 2 **利用したことはない**

②その他の学校開放について

- 1 利用している・利用したことがある 2 **利用していない**

※利用している・利用したことがある場合は、「主に利用している学校名」を3校まで記述

【回答 4 団体/全 10 団体 回答率：40% 回答数：4 件 ※(4)-②において未回答 1 件を含む】



7. 利用施設に関すること

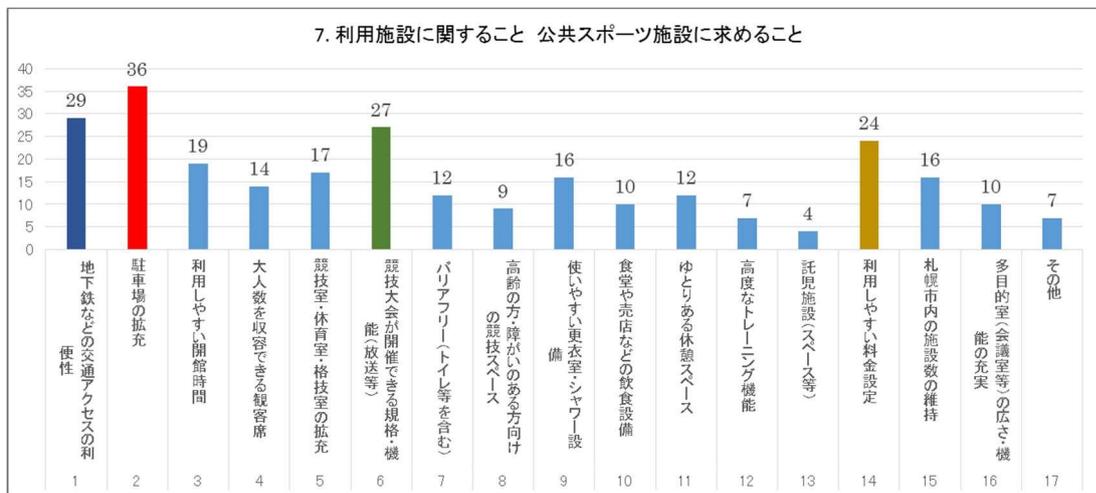
※札幌市体育協会加盟競技団体・障がい者スポーツ団体 共通設問

貴団体が公共スポーツ施設に求めることについて、該当する番号すべてに○をつけてください。

※複数回答

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 地下鉄などの交通アクセスの利便性 | 2 駐車場の拡充 |
| 3 利用しやすい開館時間 | 4 大人数を収容できる観客席 |
| 5 競技室・体育室・格技室の拡充 | 6 競技大会が開催できる規格・機能（放送等） |
| 7 バリアフリー※24（トイレ等を含む） | 8 高齢の方・障がいのある方向けの競技スペース |
| 9 使いやすい更衣室・シャワー設備 | 10 食堂や売店などの飲食設備 |
| 11 ゆとりある休憩スペース | 12 高度なトレーニング機能 |
| 13 託児機能（スペース等） | 14 利用しやすい料金設定 |
| 15 札幌市内の施設数の維持 | 16 多目的室（会議室等）の広さ・機能の充実 |
| 17 その他 | |

【回答：41 団体/全 63 団体 回答率：65.1% 回答数：273 件 ※未回答 4 件含む】



※24 【バリアフリー】…高齢者や障がいのある方などが、社会生活をしていく上で障壁となるものを除去すること。道路や建物等だけではなく、社会的、制度的、心理的なものを含めた全ての障がいを無くすことを意味している。

8. 民間施設、企業等が保有する施設の利用について

※札幌市体育協会加盟競技団体・障がい者スポーツ団体 共通設問

1 貴団体が利用している民間施設（スポーツクラブ・企業・大学の体育館等）について、利用している施設名をご記入ください。 ※複数記述回答

【回答記入団体数：15 団体/全 63 団体】

【回答のあった利用している会場】

■ 高校の施設

山の手高等学校、立命館慶祥中学校・高等学校体育館、札幌東豊高等学校道場・体育館

■ 大学の施設

北海道科学大学体育館、北海道科学大学クライミングボード、天使大学中沼グラウンド、札幌学院大学、札幌国際大学、北海道東海大学、北海道大学

■ 多目的スペース（施設）

N T T セミナーセンター、札幌市商工会議所グラウンド

■ 専用スペース（施設）

秀岳荘クライミングボード（ウォール）、浦臼国際散弾銃射撃場、ときわぎ会館レスリング道場、太陽 G 少年野球場、自衛隊施設、銭函ヨットハーバー、厚別パークボウル、総合レジャーサンコーボウル、サッポロオリンピックアボウル

■ スポーツクラブ

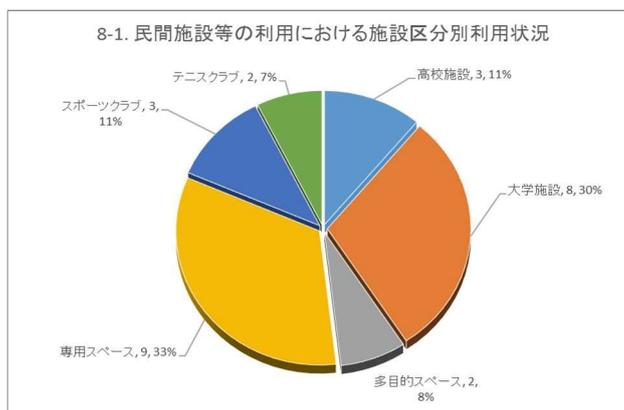
スポーツクラブ ZIP、KONAMI、イーアス

■ テニスクラブ

あけぼのテニスクラブ、スウイング 89

【区分別】

高校施設	3	11.1%
大学施設	8	29.6%
多目的スペース	2	7.4%
専用スペース	9	33.3%
スポーツクラブ	3	11.1%
テニスクラブ	2	7.4%
合計	27	



8. 民間施設、企業等が所有する施設の利用について

※札幌市体育協会加盟競技団体・障がい者スポーツ団体 共通設問

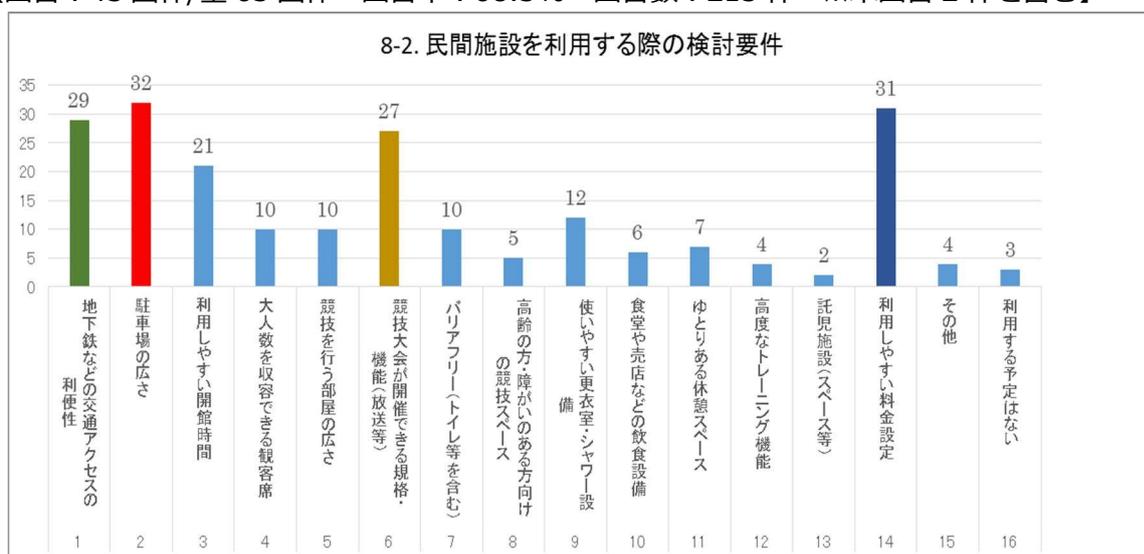
2 ※「現在民間施設の利用がない団体もご回答ください」

貴団体が今後、民間施設を利用する、または利用する可能性を検討する際の利用条件等についてお聞きします。該当する番号すべてに○をつけてください。

※複数記述回答

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 地下鉄など交通アクセスの利便性 | 2 駐車場の広さ |
| 3 利用しやすい開館時間 | 4 大人数を収容できる観客席 |
| 5 競技を行う部屋の広さ | 6 競技大会が開催できる規格・機能（放送等） |
| 7 バリアフリー※24（トイレ等を含む） | 8 高齢の方・障がいのある方向けの競技スペース |
| 9 使いやすい更衣室・シャワー設備 | 10 食堂や売店などの飲食設備 |
| 11 ゆとりある休憩スペース | 12 高度なトレーニング機能 |
| 13 託児機能（スペース等） | 14 利用しやすい料金設定 |
| 15 その他 | 16 利用する予定はない |

【回答：43 団体/全 63 団体 回答率：68.3% 回答数：215 件 ※未回答 2 件を含む】



※24 【バリアフリー】…高齢者や障がいのある方などが、社会生活をしていく上で障壁となるものを除去すること。道路や建物等だけではなく、社会的、制度的、心理的なものを含めた全ての障がいを無くすことを意味している。

9. 公共スポーツ施設の維持・保全について

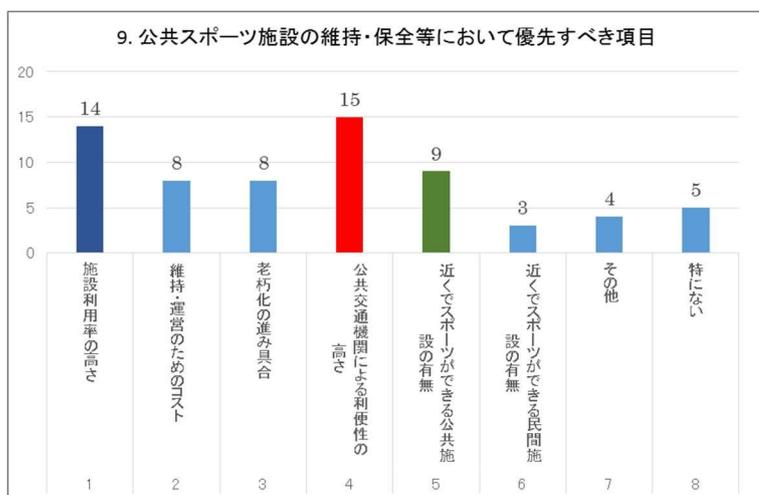
※札幌市体育協会加盟競技団体他 共通設問

札幌市の公共スポーツ施設は近い将来一斉に建物の更新時期を迎えることになり、これらに必要となる費用の増大が見込まれています。このことを踏まえ、これからも市民がスポーツに親しめる環境を維持していくために、札幌市の公共スポーツ施設についてどのようなことを優先して整備していくか、貴団体の考えに最も近い番号に1つだけ○をつけてください。 ※単数回答

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1 施設の利用率の高さ | 2 維持・運営のためのコスト |
| 3 老朽化の進み具合 | 4 公共交通機関による利便性の高さ |
| 5 近くでスポーツができる公共施設の有無 | |
| 6 近くでスポーツができる民間施設の有無 | |
| 7 その他 | 8 特になし |

【回答：45 団体/全 67 団体 回答率：67.1% 回答数：70 件

※一部団体（11 団体）が複数回答、未回答 4 件を含む】



(3) 市民ワークショップ（これからの私たちとスポーツを考えるワークショップ）

■ 実施日時

平成30（2018年）年7月22日（日） 14:00～17:00

■ 会場

札幌市中央区北2条西7丁目 北海道立道民活動センターかでの2・7
710会議室

■ 参加人数

34人（うち、札幌市立高校生から13人）

■ ワークショップ実施の目的

札幌市スポーツ推進計画の改定版策定にあたり、市民の運動・スポーツ活動などに関するニーズや課題を聴取し、計画内容に市民意見を反映することを目的とする。

■ 実施手法

無作為に抽出した18歳以上の市民3,000人に募集チラシを郵送し、参加を希望された方21人と、札幌市立高校生から募集し参加を希望した13人を合わせた34人で実施しました。
また、参加者を5～6人のグループに分け、大テーマ1、大テーマ2について意見交換を行いました。

【大テーマ1】「広く市民がスポーツに親しむために必要なこと」

<小テーマ>

- | | |
|-----------------|-------|
| ①「健康」 | ×スポーツ |
| ②「仕事・家事・子育て・介護」 | ×スポーツ |
| ③「学び・教育・学校」 | ×スポーツ |
| ④「多様性・共生」 | ×スポーツ |
| ⑤「地域や経済の活性化」 | ×スポーツ |
| ⑥「冬」 | ×スポーツ |

【大テーマ2】「広く市民がスポーツに親しむために必要な施設や場所」

<小テーマ>

- ①公共スポーツ施設がどんな場所や利用環境にあると利用したいか。
- ②公共スポーツ施設以外でスポーツを行う場所として、どんなところが利用できるとよいか。



■ ワークショップの結果（大テーマ2のみ抜粋）

【大テーマ2】「広く市民がスポーツに親しむために必要な施設や場所」

各グループで以下の小テーマ1、2について意見交換を行いました。
意見交換の結果を小テーマごとにまとめました。

小テーマ
小テーマ1：公共スポーツ施設がどんな場所や利用環境にあると利用したいか。
小テーマ2：公共スポーツ施設以外でスポーツを行う場所として、どんなところが利用できるとよいか。

小テーマ1：公共スポーツ施設がどんな場所や利用環境にあると利用したいか。

- 施設配置については、地下鉄やJRの駅などから行きやすい場所のほか、買い物などほかの目的と合わせて利用できる利便性の高い場所が望まれている。
- 料金の引き下げを望む声が多い。単純な引き下げだけではなく、条件つきやイベント要素をもたせたアイデアもみられる。
- そのほか利用環境については、利用時間の拡張、運動器具類の利便性向上、施設利用者の調整、ルールの順守、一人でも利用しやすい工夫、スポーツ教室やイベントの充実、託児などが望まれている。
- 施設の利用方法や利用状況について、わかりやすい情報提供を求める声が見られる。

項目	内容
施設配置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅（バス、地下鉄、JRなど）や学校の近くにあると使いやすい。 ・ 地下鉄から離れたところに立地している場合、送迎バスがあると良い。 ・ まちなかなど、交通の便利な場所にあると良い。 ・ サイクリングロードの近くにあると良い。 ・ ショッピングモールやスーパー、百貨店と併設または隣接していると家族連れは利用しやすい。 ・ 大学の構内にあると良い。 ・ 1区に1つではなく、もう少し増やしてほしい（施設に近い人とそうでない人とで不公平に感じる など
駐車場／駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場が充実していると良い。 ・ 駐輪場が広くなってほしい。 など
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用料金がもう少し安くなると良い。 ・ 温水プールの一般料金が高い。 ・ 高校生も無料にしてほしい（中学生は無料だったが、高校生は有料になったので、利用しにくくなった）。 ・ 複数人で利用すると安くなるなど、料金の割引があると他の人を誘って利用しやすい。 ・ 曜日によって対象となる属性の人が無料で利用できる、イベント要素のある制度があるとよい。 ・ 公共施設の民営化を進め、より安く、より使いやすくなると良い。 など
利用時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用時間帯を拡張してほしい。

項目	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事をしている人も利用しやすい時間帯（早朝、夜間）に開放してほしい。 ・予約なしでも利用できる施設があると良い。 など
用具・器具類 設備等	<ul style="list-style-type: none"> ・用具貸出しをしてほしい。 ・備品レンタルを安くしてほしい。 ・古くなっている器具もあるので、定期的に取り替えてほしい。 ・靴置き場がない施設があるので、設置してほしい。
ルール等	<ul style="list-style-type: none"> ・白石区の施設は専用の靴が必要で面倒だった。どんな靴でも利用できると良い。 ・親切な係員を配置し、利用規則の見直しをしてほしい（以前、プール利用の際に眼鏡着用について注意された際に代替案の提示もなく不可とされた）。 ・体育館で、利用時間が決められていてもオーバーして利用している人もいるため、ルールを徹底してほしい。 など
利用者調整	<ul style="list-style-type: none"> ・一定数以上は団体扱いとし、一般開放時の占有を解消してほしい。 ・利用する競技によっては、他区からの利用者も多く集まるため、調整が必要である。 ・年齢で利用が分かれていると使いやすい。 など
単独利用	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで行うスポーツ以外では利用しにくく、特定のスポーツには入りにくい。 ・一人で行っても一緒にスポーツする人がいない。一人で行って気軽に楽しめる環境づくりが必要である。 ・一緒にスポーツできる人をコーディネートする人がいるなど) など
スポーツ教室	<ul style="list-style-type: none"> ・初心者向けのスポーツ教室が開かれると良い。 ・子ども（小学生以下）が通える教室を充実させてほしい。 ・教室の振替制度があると良い（現状、祭日が休館日に重なると利用できる回数が減ってしまう）。 など
託児など	<ul style="list-style-type: none"> ・託児や遊ばせられるキッズスペースがあると良い。
イベント等	<ul style="list-style-type: none"> ・公園で行われる子ども向けイベントを充実させてほしい。 ・みんなで楽しめるイベントがあると良い。 など
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・利用可能曜日や時間、利用方法などわかりやすい情報提供が必要である（現状は個別施設ごとにホームページを見る必要がある）。 ・空き状況、混雑状況などの情報が得られるとよい。 ・どこの施設でどんなスポーツができるのか、わかりやすい方法で情報提供してほしい。 ・障がいがある子どもに水泳を教えてくれる教室を知りたいが情報が少ないので情報提供してほしい。 など

小テーマ2：公共スポーツ施設以外でスポーツを行う場所として、どんなところが利用できる
とよいか。

- 既存のスポーツ施設ほか、ショッピングセンターなどの店舗や各種施設のスペース等を活用するアイデアがみられる。
- 屋外については、公園利用を希望している人が多くみられる。

項目	内容
既存の スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間、ゴルフ場を歩くスキーに利用したい（実際にある）。 ・民間スポーツ施設の利用料や整備費を補助し、利用を促進してはどうか。 ・24時間利用できる民間スポーツ施設 など
店舗等	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットカフェ（ビリヤードや卓球ができる） ・スタジオやカフェでイベントの開催（親子で行う体操等） ・大型ショッピングセンターの通路（混雑時を避け、ウォーキング等ができるの良い）→歩数をポイント化し、店舗で特典を受けられると良い。 ・百貨店 ・営業終了後の店舗駐車場 など
その他施設	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会館 ・児童会館 ・地区センターでのスポーツ利用を充実させてほしい ・小・中学校の運動場 ・学校の一般開放を個人でも利用できるようにしてほしい（現状はクラブチームの利用が多い） ・市内にある専門学校のプール（夏期休暇中） ・リハビリ施設（機材や場所を活用し、一般の人でも利用できるとよい） ・市役所やマンション等の会議室 ・ビルの屋上 ・ホテルの宴会場 ・温泉施設（運動後に温泉が利用できて良い） など
屋外	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の自由度を高めて利用したい（現状はボールの使用やソリ遊びなど禁止事項が多い）。 ・あまり利用されていない公園を再整備してはどうか。 ・大きめの公園や空き地 ・河川敷、豊平川 ・冬期の駐輪場 ・歩道（散歩用） ・歩行者天国 ・サイクリングロードをもっと増やしてほしい。 など
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・個人のレッスン教室（高齢なので、サポートを受けて運動できる環境が望ましい） ・家の中 ・スポーツできる場所について、回覧板等で情報共有できると良い。 など

Ⅲ. 施設情報一覧表

(1) 【体育館、屋内競技場等】

施設名称	区	所在	運営形態	供用開始年度	竣工年度	経過年数 2020年度時点	施設						
							競技室	可能競技数 (競技室)	体育室	格技室	トレーニング室	トレーニングデッキ	ランニングデッキ
体育館 (10)													
中央体育館 (北ガスアリーナ 札幌46)	中央	中央区北4条東 6丁目	指定 管理	2019	2019	1	2,612㎡	●バドミントン：16面 ●バスケットボール・バレー・テニス：3面	—	—	149㎡	—	1周 250m
北区体育館	北	北区新琴似8条 2丁目	指定 管理	1982	1982	38	1,464㎡	●バドミントン：8面 ●バスケットボール・バレー・テニス：2面	430㎡	218㎡	152㎡	205㎡	—
東区体育館	東	東区北27条東 14丁目	指定 管理	1981	1981	39	1,505㎡	●バドミントン：8面 ●バスケットボール・バレー・テニス：2面	457㎡	289㎡	202㎡	215㎡	—
白石区体育館	白石	白石区南郷通6 丁目北1	指定 管理	1985	1985	35	1,450㎡	●バドミントン：8面 ●バスケットボール・バレー・テニス：2面	425㎡	235㎡	150㎡	225㎡	1周 144m
厚別区体育館	厚別	厚別区厚別中央 2条5丁目	指定 管理	1980	1980	40	1,408㎡	●バドミントン：8面 ●バスケットボール・バレー・テニス：2面	370㎡	245㎡	162㎡	251㎡	1周 155m
豊平区体育館	豊平	豊平区月寒東2 条20丁目	指定 管理	1984	1984	36	1,885㎡	●バドミントン：12面 ●バスケットボール・バレー・テニス：2面 ●ハンドボール：1面	473㎡	253㎡	201㎡	212㎡	1周 160m
清田区体育館	清田	清田区平岡1条 5丁目	指定 管理	1997	1997	23	1,483㎡	●バドミントン：8面 ●バスケットボール・バレー・テニス：2面	435㎡	270㎡	229㎡	140㎡	1周 140m
南区体育館	南	南区川沿4条2 丁目	指定 管理	1983	1983	37	1,514㎡	●ミニバレー・バドミントン：8面 ●ソフトバレーボール：4面 ●バレー・テニス：2面 ●バスケットボール：1面	451㎡	287㎡	142㎡	237㎡	1周 140m
西区体育館	西	西区月寒5条8 丁目	指定 管理	1986	1986	34	1,409㎡	●バドミントン：8面 ●バスケットボール・バレー・テニス：2面	454㎡	294㎡	147㎡	—	1周 140m
手稲区体育館	手稲	手稲区曙2条1 丁目	指定 管理	1980	1980	40	1,373㎡	●バドミントン：8面 ●バスケットボール・バレー・テニス：2面	435㎡	248㎡	168㎡	233㎡	—
屋内競技場等 (4)													
中島体育 センター	中央	中央区中島公園 1番5号	指定 管理	2000	1979	41	—	—	480㎡	398㎡	304㎡	—	—
宮の沢 屋内競技場	西	西区宮の沢490 番地	指定 管理	1987	1987	33	—	—	—	—	—	—	—
月寒体育館	豊平	豊平区月寒東1 条8丁目	指定 管理	1972	1971	49	—	—	—	—	—	—	—
美香保体育館 ・夏季：体育館 ・冬季：スケートリンク	東	東区北22条西5 丁目	指定 管理	1971	1971	49	1,800㎡	—	—	—	—	—	—

機能				その他設備		防災		利用期間	利用時間 (一般開放) (専用利用)
幼児 遊戯室 (プレイルーム)	多目的室	その他	エレベータ	観客席	避難場所指定 ※ア	避難可能人員			

—	69㎡	69㎡	—	●相撲室：227㎡ ●ホッケー室：278㎡ ●剣道室：230㎡ ●武道室：232㎡ ●柔道室：225㎡ ●弓道室：528㎡ ●アーチェリー室：301㎡ ●ウエイトリフティング室：77㎡	○	2,504席 ・固定席：1,356席 ・車いす席：22席 ・同伴者席：22席 ・可動席：1,104席	指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-地震】	1,649	通年	9:00～ 21:00
65㎡	60㎡	45㎡	—	●ボクシング室：218㎡	○	—	指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-地震】	1,144	通年	9:00～ 21:00
36㎡	67㎡	57㎡	—	●弓道・アーチェリー	○	—	指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-地震】	1,177	通年	9:00～ 21:00
70㎡	70㎡	—	—	●小体育室：161㎡ (ダンスバー・鏡)	—	—	指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-地震】	1,125	通年	9:00～ 21:00
52㎡	62㎡	—	—	—	—	—	指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-土砂-地震】	1,068	通年	9:00～ 21:00
65㎡	97㎡	—	—	●ハンドボール ●軟式野球場：中堅65m-右58m-左67m	—	—	指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-土砂-地震】	1,397	通年	9:00～ 21:00
206㎡	75㎡	—	—	●第2体育室：225㎡ (ダンスバー・鏡)	—	—	指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-土砂-地震】	1,330	通年	9:00～ 21:00
70㎡	62㎡	33㎡	—	●体操競技機器	—	—	指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-土砂-地震】	1,192	通年	9:00～ 21:00
45㎡	62㎡	73㎡	—	●弓道場：503㎡ ●重量拳室：286㎡	—	—	指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-土砂-地震】	1,120	通年	9:00～ 21:00
61㎡	62㎡	60㎡	—	—	—	—	指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-土砂-地震】	1,089	通年	9:00～ 21:00

—	—	—	—	●小体育室：398㎡ ●講堂：244㎡	—	—	—	—	通年	9:00～ 21:00
—	91㎡	—	—	●ライフル射撃場：2,822㎡ (スポールポアライフル26射座) ●空気銃射撃場：706㎡ (エアライフル26射座)	—	—	—	—	通年	9:00～ 21:00
—	94㎡	38㎡	38㎡	●ホワイエ(卓球) ●スケートリンク：30m×60m	—	2,321席	—	—	通年	・ホワイエ(卓球場) 9:00～21:00 ・スケート 10:00～21:00
—	84㎡	48㎡	47㎡	●多目的体育館：30m×60m (夏季:体育館、冬季:スケートリンク)	○	1271席 ・固定席：1,264席 ・車いす席：7席	—	—	通年	・体育室(6/1～9/30) 9:00～21:00 ・カト(11/1～4/30) 10:00～21:00

(1) 【体育館、屋内競技場等】

施設名称	土地		主建物				建設事業費		
	土地面積 (㎡)	駐車場台数	延床面積 (㎡)	主構造 ※イ	特定天井	耐震性 ※ウ	総建築費 (建築時)	うち用地費	建設費 (用地費除く)

体育館 (10)

中央体育館 (北ガスアリーナ 札幌46)	15,060	100	14,612	SRC	無	◎	10,500,000千円	8,765,000千円	1,735,000千円
北区体育館	7,354	夏 110 冬 90	4,652	RC/S	無	◎	1,506,479千円	331,846千円	1,174,633千円
東区体育館	7,757	夏 100 冬 80	4,379	SRC	有 2020年度 対策済	○	1,482,631千円	337,463千円	1,145,168千円
白石区体育館	8,058	夏 70 冬 50	4,831	SRC	無	◎	2,399,777千円	1,208,771千円	1,191,006千円
厚別区体育館	4,700	夏 50 冬 40	4,751	SRC	無	改修済	1,209,522千円	259,910千円	949,612千円
豊平区体育館	13,697	夏 100 冬 90	5,504	SRC /RC	無	◎	1,886,867千円	490,364千円	1,396,503千円
清田区体育館	14,840	夏 140 冬 80	4,638	RC/S	有 2020年度 対策済	◎	4,783,500千円	1,886,321千円	2,897,179千円
南区体育館	9,800	夏 110 冬 70	4,877	SRC	無	◎	1,706,260千円	352,801千円	1,353,459千円
西区体育館	15,798	夏 150 冬 120	5,161	RC/S	無	◎	1,516,941千円	385,402千円	1,131,539千円
手稲区体育館	7,721	100	4,432	SRC /RC	無	○	1,164,918千円	193,058千円	971,860千円

屋内競技場等 (4)

中島体育 センター	5,310	60	4,659	RC	無	改修済	22,188千円	0千円	22,188千円
宮の沢 屋内競技場	5,999	70	4,588	S/RC	無	◎	495,071千円	0千円	495,071千円
月寒体育館	48,166	夏 150 冬 100	9,780	SRC	無	改修済	979,582千円	0千円	979,582千円
美香保体育館 ・夏季：体育館 ・冬季：スケートリンク	10,330	85	6,655	RC	有 2025年度 工事予定	改修済	685,248千円	0千円	685,248千円

利用状況					満足度調査【平成29年度実施】※工						
延利用者 (H28)	延利用者 (H29)	延利用者 (H30)	延利用者 (H31)	床面積 あたり 利用者数 【H31実績】	利用種目（上位5つ） 【平成29年度実績】 ※平成30年度の北海道胆振東部地震及び、 令和元年度に発生した新型コロナウイルス 感染症（COVID-19）の影響を考慮し、 平成29年度の利用実績を記載	利 用 条 件	利 用 案 内	運 動 器 具	施 設 環 境	ス タ ツ フ	総 合
—	—	—	224,210	15.3	※平成30年度（2019年度）供用開始のため、平成29年度（2018年度）の利用実績なし	—	—	—	—	—	—
202,100	216,731	212,886	188,662	40.6	卓球：46,603、トレーニング：42,132、 バドミントン：34,649、格技系開放：9,044、 バスケ：8,912	86.5	92.8	87.4	85.5	97.9	97.7
158,816	160,397	146,104	134,629	30.7	卓球：28,702、バドミントン：27,852、 トレーニング：23,863、バスケ：11,640、 剣道：7,137	89.2	93.3	85.5	83.3	99.1	98.1
181,672	106,242	178,094	164,006	33.9	トレーニング：22,249、卓球：17,810、 バドミントン：13,629、ランニング：4,671、 バスケ：4,375	86.4	89.2	79.8	68.7	98.0	94.9
169,987	170,167	162,558	151,430	31.9	バドミントン：33,389、卓球：31,048、 トレーニング：17,770、バスケ：11,135、 ヨガ：7,679	82.8	91.6	76.9	82.1	91.9	91.1
142,840	152,119	74,415	122,979	22.3	バドミントン：29,907、卓球：21,726、 バドボール：15,935、トレーニング：12,161、 フットサル：10,774	86.8	94.8	81.7	77.1	97.3	91.5
172,567	180,803	161,141	155,586	33.5	トレーニング：41,239、卓球：28,674、 バドミントン：19,722、バスケ：9,376、 テニス：9,079	90.9	92.2	84.6	82.8	96.7	96.8
87,561	148,570	143,305	132,945	27.3	トレーニング：24,346、卓球：23,493、 バドミントン：21,172、 その他フィットネス：10,213、フットサル：7,794	88.3	95.3	85.3	87.5	95.1	98.2
211,902	207,886	208,931	183,970	35.6	トレーニング：35,545、卓球：32,834、 バドミントン：26,410、ランニング：13,708、 バスケ：10,548	93.1	93.5	77.5	83.2	95.6	96.8
164,709	165,168	158,475	137,987	31.1	卓球：40,503、バドミントン：19,957、 トレーニング：19,790、その他フィットネス：12,923 バスケ：8,994	92.6	92.1	76.3	78.5	97.1	94.6
123,908	131,799	127,489	117,277	25.2	トレーニング：38,350、卓球：22,446、 会議：10,852、格技系開放：9,295、 その他フィットネス：8,788	91.4	92.1	77.7	68.4	97.7	96.3
21,010	44,491	44,567	40,213	8.8	テニス：26,928、射撃：2,381、 フットサル：9,052、野球：920、その他：724	96.0	92.7	80.2	77.9	96.8	96.0
145,318	128,999	128,248	113,530	11.6	スケート：40,488、卓球：33,282、 アイススケート：31,138、フィギュアスケート：7,729、 ヨガ：2,398	96.1	93.7	82.9	70.0	93.5	92.1
84,721	82,747	89,799	77,976	11.7	スケート：32,876、卓球：12,907、 フィギュアスケート：5,221、バドミントン：4,942、 バドボール：4,330	95.1	94.4	91.4	85.2	98.8	98.4

(2) 【温水プール、スケート場、カーリング場】

施設名称	区	所在	運営形態	供用開始年度	竣工年度	経過年数 2020年度時点	施設機能		
							競技室等	多目的室	

温水プール (8)

東温水プール	東	東区北16条東16丁目	指定管理	1996	1996	24	●大人用：25m×15m、深さ1.20～1.30m ●子供用：15m×8m、深さ0.70～0.80m ●ウォータースライダー：高低差2.8m	—	—	—
白石温水プール	白石	白石区平和通1丁目南	指定管理	1992	1992	28	●大人用：25m×15m、深さ1.20～1.30m ●子供用：15m×8m、深さ0.70～0.80m	○	—	—
厚別温水プール	厚別	厚別区厚別中央2条6丁目	指定管理	2004	2004	16	●大人用：25m×15m、深さ1.20～1.30m ●子供用：15m×8m、深さ0.80m ●多目的：15m×6m、深さ1.00m	○	—	—
豊平公園温水プール	豊平	豊平区美園6条1丁目	指定管理	1983	1983	37	●大人用：25m×15m、深さ1.10～1.30m ●子供用：15m×8m、深さ0.50～0.65m	○	—	—
清田温水プール	清田	清田区平岡1条5丁目	指定管理	1997	1997	23	●大人用：25m×15m、深さ1.20～1.30m ●子供用：15m×9m、深さ0.75～0.80m	—	—	—
西温水プール	西	西区発寒5条8丁目	指定管理	1999	1999	21	●大人用：25m×15m、深さ1.20～1.30m ●子供用：15m×7.25m、深さ0.70～0.80m ●ウォータースライダー：全長20m	—	—	—
手稲曙温水プール	手稲	手稲区曙2条1丁目	指定管理	1994	1994	26	●大人用：25m×15m、深さ1.20～1.30m ●子供用：15m×8m、深さ0.70～0.80m	○	—	—
平岸プール	豊平	豊平区平岸5条14丁目	指定管理	1989	1989	31	●50mプール：50m×25m、深さ0～3.00m(可変床)、長水路9コース、短水路18コース ●25mプール：25m×13m、深さ0～1.20m(可変床)、短水路6コース ●講習会室	○	—	—

スケート場 (3) 、カーリング場 (1)

月寒体育館	豊平	豊平区月寒東1条8丁目	指定管理	1972	1971	49	●スケートリンク：30m×60m ●ホワイエ (卓球)	94㎡	38㎡	38㎡
美香保体育館 ・冬季：スケートリンク ・夏季：体育館	東	東区北22条西5丁目	指定管理	1971	1971	49	●多目的体育館：30m×60m (夏季：体育館,冬季：スケートリンク)	84㎡	48㎡	47㎡
星置スケート場	手稲	手稲区星置2条1丁目	指定管理	1985	1985	35	●スケートリンク：30m×60m	—	—	—
カーリング場 (どうぎんカーリングスタジアム)	豊平	豊平区月寒東1条9丁目	指定管理	2012	2012	8	●カーリングシート：5シート ●多目的ホール：108.67㎡	43㎡	31㎡	20㎡×2

その他設備		防災		利用期間	利用時間 (一般開放) (専用利用)	土地		主建物			
エレベータ	観客席	避難場所指定 ※ア	避難可能人員			土地面積 (㎡)	駐車場台数	延床面積 (㎡)	主構造 ※イ	特定天井	耐震性 ※ウ

—	—	—	—	通年	10:00~21:00	4,320	44	2,396	RC/SRC	無	◎
—	—	—	—	通年	10:00~21:00	5,001	45	2,144	RC	無	◎
○	—	—	—	通年	10:00~21:00	5,765	夏 55 冬 50	2,926	RC/SRC/S	有 2023年度 工事予定	◎
—	—	—	—	通年	10:00~21:00	8,920	21	2,100	RC	無	◎
—	—	指定緊急避難場所 兼 指定避難所 (基幹) 【洪水-土砂-地震】	1,330	通年	10:00~21:00	14,840	夏 140 冬 80	2,361	RC/S	有 2020年度 対応済	◎
—	—	指定緊急避難場所 兼 指定避難所 (基幹) 【洪水-土砂-地震】	1,120	通年	10:00~21:00	15,798	夏 150 冬 120	2,573	RC/S	有 2022年度 工事予定	◎
—	—	—	—	通年	10:00~21:00	5,000	50	2,395	RC	無	◎
—	1414席	—	—	通年	10:00~21:00	15,222	100	8,257	SRC	無	◎

—	2,321席	—	—	通年	・スケート 10:00~21:00 ・ホワイエ(卓球) 9:00~21:00	48,166	夏 150 冬 100	9,780	SRC	無	改修済
○	1271席 ・固定席：1,264席 ・車いす席：7席	—	—	通年	・スケート(11/1~4/30) 10:00~21:00 ・体育室(6/1~9/30) 9:00~21:00	10,330	85	6,655	RC	有 2025年度 工事予定	改修済
—	—	—	—	通年	10:00~22:00	6,289	30	3,175	S	無	◎
○	224席 ・固定席：208席 ・車いす席：16席	—	—	通年	10:00~21:00	5,219	50	3,375	RC	有 2023年度 工事予定	◎

(2) 【温水プール、スケート場、カーリング場】

施設名称	建設事業費			延利用者 (H28)	延利用者 (H29)
	総建築費 (建築時)	うち用地費	建設費 (用地費除く)		
温水プール (8)					
東温水プール	2,297,432千円	1,086,089千円	1,211,343千円	148,929	143,577
白石温水プール	2,081,772千円	1,239,998千円	841,774千円	53,608	81,288
厚別温水プール	2,125,553千円	813,210千円	1,312,343千円	132,608	129,405
豊平公園温水プール	600,000千円	0千円	600,000千円	75,042	74,593
清田温水プール	4,783,500千円	1,886,321千円	2,897,179千円	86,339	84,938
	体育館含む				
西温水プール	1,242,275千円		1,242,275千円	142,689	135,492
手稲曙温水プール	1,626,473千円	459,997千円	1,166,476千円	124,272	124,274
平岸プール	5,098,140千円	1,487,555千円	3,610,585千円	173,824	173,223
スケート場 (3) 、カーリング場 (1)					
月寒体育館	979,582千円	0千円	979,582千円	145,318	128,999
美香保体育館 ・冬季：スケートリンク ・夏季：体育館	685,248千円	0千円	685,248千円	84,721	82,747
星置スケート場	300,000千円	0千円	300,000千円	8,297	7,262
カーリング場 (どうぎんカーリングスタジアム)	1,756,742千円	275,940千円	1,480,802千円	52,026	48,347

利用状況				満足度調査【平成29年度実施】※工					
延利用者 (H30)	延利用者 (H31)	床面積 あたりの 利用者数 【H31実績】	利用種目（上位5つ） 【平成29年度実績】 ※平成30年度の北海道胆振東部地震及び、 令和元年度に発生した新型コロナウイルス 感染症（COVID-19）の影響を考慮し、 平成29年度の利用実績を記載	利 用 条 件	利 用 案 内	運 動 器 具	施 設 環 境	ス タ ツ フ	総 合
75,426	115,046	48.0	水泳：137,348、ヨガ：2,425、 その他フィットネス：1,984、 ピラティス：1,792、その他：8	92.3	96.1	88.5	93.5	98.4	98.1
92,386	76,402	35.6	水泳：78,840、ヨガ：1,001、 その他フィットネス：783、 ピラティス：664	94.7	97.8	93.8	94.9	98.9	98.0
129,322	120,862	41.3	水泳：127,877、 その他フィットネス：1,033、 ヨガ：214、フラダンス：207、会議：59	94.0	97.9	94.5	89.8	97.2	97.5
80,217	71,441	34.0	水泳：73,411、 その他フィットネス：534、 ヨガ：381、その他：153、会議：110	94.3	96.9	94.2	95.1	98.8	100
74,416	78,133	33.1	水泳：82,565	90.9	92.2	84.6	82.8	96.7	96.8
128,503	126,876	49.3	水泳：133,434	93.1	93.5	77.5	83.2	95.6	96.8
121,309	64,582	27.0	水泳：123,077、その他フィットネス：790、 フラダンス：307、会議：49、 体操・器械体操：28	93.6	90.8	80.1	88.5	98.7	98.6
84,391	135,671	16.4	水泳：161,970、会議：1,813、 ヨガ：684、その他フィットネス：356、 その他：84	91.9	97.1	90.8	88.9	100	97.2
128,248	113,530	11.6	スケート：40,488、卓球：33,282、 アイスホッケー：31,138、フィギュアスケート：7,729、 ヨガ：2,398	96.1	93.7	82.9	70.0	93.5	92.1
89,799	77,976	11.7	スケート：32,876、卓球：12,907、 フィギュアスケート：5,221、 バドミントン：4,942、バレーボール：4,330	95.1	94.4	91.4	85.2	98.8	98.4
8,524	1,846	0.6	アイスホッケー：25,653、スケート：15,277、 フィギュアスケート：6,779	89.5	96.1	92.1	89.5	98.0	95.6
49,163	43,778	13.0	カーリング：42,565、その他：967、 その他フィットネス：761、 ヨガ：617、ピラティス：414	89.0	96.6	97.5	98.5	99.8	97.8

(3) 【野球場、陸上競技場、サッカー場、ラグビー場、弓道場】

施設名称	区	所在	運営形態	供用開始年度	竣工年度	経過年数 2020年度時点	施設機能
野球場 (4)							
円山球場：硬式	中央	中央区宮ヶ丘・宮の森	指定管理	1974	1974	46	●中堅117m、両翼 98m
麻生球場：硬式	北	北区麻生町7丁目	指定管理	1980	1980	40	●中堅111m、両翼 92m
美香保公園野球場：軟式3面	東	東区 北21～22条 東4～5丁目	指定管理	1951	1951	69	●A球場：中堅96m、両翼84m ●B球場：中堅94m、両翼84m (夜間照明あり) ●C球場：中堅85m、両翼80m
豊平区体育館付属野球場：軟式	豊平	豊平区月寒東2条20丁目	指定管理	1984	1984	36	●中堅65m、右58m、左67m
陸上競技場 (2)							
厚別公園競技場 ・フィールド：サッカー場	厚別	厚別区上野幌3条1・2丁目	指定管理	1987	1986	34	●全天候型舗装トラック：1周400m、9J-入 ●フィールド(天然芝)：105×70m ●練習走路(ウレタン舗装)：64m、4レーン ●トレーニングルーム
円山競技場 ・フィールド：サッカー場 ・冬季：スケートリンク	中央	中央区宮ヶ丘・宮の森	指定管理	1983	1982	38	●全天候型舗装トラック：1周400m、8J-入 ●フィールド：100m×64.5m (冬季間：1周200mのスケートリンク)
サッカー場 (2)、ラグビー場 (1)、弓道場 (1)							
東雁来公園サッカー場	東	東区東雁来12条4丁目	直営 (委託)	2010	2008	12	●フィールド(人工芝)：105m×68m×2面
月寒屋外競技場ラグビー場	豊平	豊平区月寒東1条8丁目	指定管理	1988	1987	33	●フィールド(天然芝) ：ゴールライン間 100.6m、 タッチライン間 69.0m
月寒屋外競技場弓道場	豊平	豊平区月寒東1条8丁目	指定管理	1988	1987	33	●和・洋弓併用的：90m級、10的

その他設備		防災		利用期間	利用時間	
エレベータ	観客席	避難場所指定※ア	避難可能人員		一般利用	専用利用
○	25,000人 ・内外スタンド：10,500席 ・芝生スタンド：14,500人	—	—	4/29～10/15	—	8:00～17:00
—	12,000人 ・内野スタンド：4,350席 ・外野芝生スタンド：7,650人	指定緊急避難場所【大火事】	11,800	4/29～10/15	8:00～17:00	6:00～17:00
—	A・B球場：簡易スタンド（50人程度）	—	—	4/29～10/15	—	[A・C球場] ・4～8月 6:00～19:00 ・9～10月 6:00～18:00 [B球場] ・4～10月 6:00～20:00
—	—	—	—	4/29～10月上旬	6:00～19:00	
—	20,861人 ・メインスタンド：6,412人 ・バックスタンド：4,823人 ・右サイドスタンド：4,842人 ・左サイドスタンド：4,784人	—	—	4/20～10/31 （トレーニング通年）	・4/20～8/30 8:30～19:00 ・9/1～9/30 8:30～18:00 ・10/1～10/31 8:30～17:00 （トレーニング 9:00～21:00）	・4/20～8/30 8:30～19:00 ・9/1～9/30 8:30～18:00 ・10/1～10/31 8:30～17:00 （トレーニング 9:00～21:00）
—	12,000人 ・メインスタンド：2,500席 ・バックスタンド盛土：9,500人	—	—	4/29～10/15 （スケート1/5～2/11）	・4/29～8/31 8:30～19:00 ・9/1～10/15 8:30～18:00 （スケート 10:00～19:00）	・4/29～8/31 8:30～19:00 ・9/1～10/15 8:30～18:00
—	—	—	—	4/20～11/20	—	・4/20～4/28 5:00～17:00 ・4/29～8/31 5:00～19:00 ・9/1～9/30 5:00～18:00 ・10/1～11/3 5:00～17:00 ・11/4～11/20 6:00～16:00
—	4,715人 ・メイン・バックスタンド：3,545席 ・芝生：1,170人	—	—	4/29～10/15	8:30～17:30	8:30～17:30
—	—	—	—	4/29～10/31	・4/29～8/31 6:00～19:00 ・9/1～9/30 6:00～18:00 ・10/1～10/31 6:00～17:00	・4/29～8/31 6:00～19:00 ・9/1～9/30 6:00～18:00 ・10/1～10/31 6:00～17:00

(3) 【野球場、陸上競技場、サッカー場、ラグビー場、弓道場】

施設名称	土地		主建物				建築事業費		
	土地面積	駐車場台数	延床面積(m ²)	主構造※イ	特定天井	耐震性※ウ	総建築費(建築時)	うち用地費	建設費(用地費除く)
野球場 (4)									
円山球場：硬式	35,313	50	3,589	RC	無	○	405,000千円	0千円	405,000千円
麻生球場：硬式	35,662	250	2,983	RC	無	○	725,727千円	106,870千円	618,857千円
美香保公園野球場：軟式3面	28,544	26	207	S、W	—	◎	—	—	—
豊平区体育館付属野球場：軟式	13,697	夏 100 冬 90	—	—	—	—	—	—	—
陸上競技場 (2)									
厚別公園競技場 ・フィールド：サッカー場	131,332	66	4,475	RC/S	無	◎	3,624,000千円	2,545,000千円	1,079,000千円
円山競技場 ・フィールド：サッカー場 ・冬季：スケートリンク	47,800	50	2,236	RC	—	◎	1,138,969千円	0千円	1,138,969千円
サッカー場 (2)、ラグビー場 (1)、弓道場 (1)									
東雁来公園サッカー場	34,135	30	—	—	—	—	186,954千円	0千円	186,954千円
月寒屋外競技場ラグビー場	48,166	夏 150 冬 100	1,079	SRC	無	◎	602,550千円	0千円	602,550千円
月寒屋外競技場弓道場	48,166	夏 150 冬 100	148	S	無	◎			

利用状況						満足度調査【平成29年度実施】※工					
延利用者 (H28)	延利用者 (H29)	延利用者 (H30)	延利用者 (H31)	床面積 あたり 利用者数 【H31実績】	利用種目（上位5つ） 【平成29年度実施】 ※平成30年度の北海道胆振東部地震及び、 令和元年度に発生した新型コロナウイルス 感染症（COVID-19）の影響を考慮し、 平成29年度の利用実績を記載	利 用 条 件	利 用 案 内	運 動 器 具	施 設 環 境	ス タ ツ フ	総 合
152,545	140,807	175,968	150,241	41.9	野球：35,048	99.1	95.4	96.6	82.2	100	98.9
60,891	70,814	59,128	67,352	22.6	野球：22,800	96.7	93.8	96.6	91.5	99.1	98.3
48,000	47,277	43,977	45,750	221.0	野球：35,798	—	—	—	—	—	—
10,110	10,759	7,477	8,113	—	野球：10,759	—	—	—	—	—	—
179,216	178,967	235,753	200,021	44.7	陸上：98,584、サッカー：42,880、 トレーニング：15,744、 その他フィットネス：9,456、ヨガ：3,165	97.4	94.1	94.8	51.2	95.6	95.0
107,929	102,538	96,777	93,119	40.8	陸上：67,272、スケート：7,262、 サッカー：3,515、ヨガ：2,399、 その他フィットネス：1,662	99.1	95.4	96.6	82.2	100	98.9
40,246	47,503	52,831	67,669	—	—	—	—	—	—	—	—
8,013	7,445	9,223	7,943	7.4	—	96.8	98.9	94.3	92.1	96.9	96.2
2,953	0	1,148	1,119	7.5	—	96.8	98.9	94.3	92.1	96.9	96.2

(4) 【テニスコート、ジャンプ競技場】

施設の名称	区	所在	運営形態	供用開始年度	竣工年度	経過年数 2020年度 時点	施設機能
-------	---	----	------	--------	------	----------------------	------

テニスコート (6)

中島公園庭球場	中央	中央区南15条西4丁目	直営 (委託)	1954	1954	66	●クレイコート×6面 (夜間照明付4面)
円山庭球場	中央	中央区宮の森	指定管理	1982	1982	38	●クレイコート×12面 (夜間照明付4面)
月寒屋外競技場 庭球場	豊平	豊平区月寒東1条8丁目	指定管理	1979	1979	41	●ハードコート×4面
麻生庭球場	北	北区麻生町7丁目	指定管理	1983	1982	38	●ハードコート×2面
スポーツ交流施設 庭球場	東	東区栄町885番地1	指定管理	1997	1997	23	●砂入り人工芝コート×4面
平岸庭球場	豊平	豊平区平岸5条19丁目	指定管理	2018	2017	3	●セミハードコート×20面

ジャンプ競技場 (4)

大倉山ジャンプ 競技場	中央	中央区宮の森1274番地外	指定管理	1970	1999	21	●ラージヒルジャンプ台 : ヒルサイズ 134m、K点 120m、全長 368.1m、 標高差 136.7m、アプローチ 101.0m、 ランディングバーン 202.8m、 ブレーキングトラック 100.0m
宮の森ジャンプ 競技場	中央	中央区宮の森1条18丁目外	指定管理	1970	1970	50	●ノーマルヒルジャンプ台 : ヒルサイズ 100m、K点 90m、全長 334.7m、 標高差 104.4m、アプローチ 91.8m、 ランディングバーン 142.9m、 ブレーキングトラック 100.0m
荒井山シャンツェ	中央	中央区宮の森902番地外	指定管理	2003	2003	17	●ミディアムヒルジャンプ台 : ヒルサイズ 62m、K点 55m、全長 200.0m、 標高差 61.5m、アプローチ 51.0m、 ランディングバーン 46.0m、 ブレーキングトラック 83.0m ●スモールヒルジャンプ台 : ヒルサイズ 25m、K点 25m、全長 138.0m、 標高差 28.0m、アプローチ 32.0m、 ランディングバーン 46.0m、 ブレーキングトラック 60.0m
手稲山シャンツェ	手稲	手稲区手稲本町593番地17外	直営 (委託)	1999	1999	21	●スモールヒルジャンプ台 : ヒルサイズ 33m、K点 30m、全長 143.9m、 標高差 37.0m、アプローチ 42.2m、 ランディングバーン 56.7m、 ブレーキングトラック 45.0m

その他設備		防災		利用期間	利用時間（専用利用）	
エレベータ	観客席	避難場所指定※ア	避難可能人員			

—	1,500人(ブロック積スタンド)	—	—	5/1~10/31	[夜間照明設備有：4面] ・ 5/1~10/31 6:00~21:00	[夜間照明設備無：2面] ・ 5/1~8/31 6:00~19:00 ・ 9/1~9/30 6:00~18:00 ・ 10/1~10/31 6:00~17:00
—	中段：約580人 下段：約770人	—	—	4/29~10/31	[夜間照明設備有：4面] ・ 4/29~5/31 9:00~19:00 ・ 6/1~8/31 9:00~21:00 ・ 9/1~9/30 9:00~18:00 ・ 10/1~10/31 9:00~17:00	[夜間照明設備無：8面] ・ 4/29~8/31 9:00~19:00 ・ 9/1~9/30 9:00~18:00 ・ 10/1~10/31 9:00~17:00
—	—	—	—	4/29~10/31	・ 4/29~8/31 6:00~19:00 ・ 9/1~9/30 6:00~18:00 ・ 10/1~10/31 6:00~17:00	
—	—	—	—	4/29~10/31	・ 4/29~8/31 9:00~19:00 ・ 9/1~9/30 9:00~18:00 ・ 10/1~10/31 9:00~17:00	
—	—	—	—	5/1~11/3	6:00~21:00	
—	センターコート 600人	—	—	4/29~10/31	・ 4/29~8/31 9:00~19:00 (土日祝日 6:00~19:00) ・ 9/1~9/30 9:00~18:00 (土日祝日 6:00~18:00) ・ 10/1~10/31 9:00~17:00 (土日祝日 6:00~17:00)	

○	50,000人 ・ 固定：3,500席 ・ 立見：46,500人	—	—	通年	・ 5/1~10/31 9:00~18:00 ・ 11/1~4/30 9:00~17:00	
—	30,000人	—	—	通年	9:00~17:00	
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	

(4) 【テニスコート、ジャンプ競技場】

施設の名称	土地		主建物				建設事業費		
	土地面積	駐車場台数	延床面積(m ²)	主構造※イ	特定天井	耐震性※ウ	総建築費(建築時)	うち用地費	建設費(用地費除く)

テニスコート (6)

中島公園庭球場	6,144	20	263	W	無	—	3,450千円	0千円	3,450千円
円山庭球場	20,519	50	126	S	—	—	33,390千円	0千円	33,390千円
月寒屋外競技場 庭球場	48,166	夏 150 冬 100	—	—	—	—	8,000千円	0千円	8,000千円
麻生庭球場	1,490	250	—	—	—	—	20,130千円	0千円	20,130千円
スポーツ交流施設 庭球場	133,329	306	—	—	—	—	—	—	—
平岸庭球場	31,722	100	418	—	—	—	277,796千円	0千円	277,796千円

ジャンプ競技場 (4)

大倉山ジャンプ 競技場	87,322	128	8,658	SRC、 S/RC	有 2021年度 工事予定	◎	3,650,000千円	0千円	3,650,000千円
宮の森ジャンプ 競技場	41,794	0	664	W	無	◎	395,000千円	—	—
荒井山シャンツエ	7,299	0	255	RC、 S/RC 、S	無	◎	673,994千円	0千円	673,994千円
手稲山シャンツエ	6,858	3,000	65	S	無	◎	95,661千円	—	—

利用状況						満足度調査【平成29年度実施】※工					
延利用者 (H28)	延利用者 (H29)	延利用者 (H30)	延利用者 (H31)	床面積 あたりの 利用者数 【H31実績】	利用種目(上位5つ) 【平成29年度実施】 ※平成30年度の北海道胆振東部地震及び、 令和元年度に発生した新型コロナウイルス 感染症(COVID-19)の影響を考慮し、 平成29年度の利用実績を記載	利 用 条 件	利 用 案 内	運 動 器 具	施 設 環 境	ス タ ツ フ	総 合
78,313	79,757	79,686	81,014	308.3	—	—	—	—	—	—	—
50,394	58,193	59,806	57,227	453.2	ソフトテニス：41,653、 テニス：40	99.1	95.4	96.6	82.2	100	98.9
6,714	7,619	7,271	7,096	—	テニス：7,619	96.8	98.9	94.3	92.1	96.9	96.2
2,659	2,602	2,729	2,454	—	テニス：2,457、 ソフトテニス：145	—	—	—	—	—	—
10,514	10,845	7,344	9,651	—	テニス(アリーナ含む)：21,669、 ソフトテニス(アリーナ含む)：4,189	87.9	95.4	71.5	76.3	97.8	94.5
—	—	40,557	27,909	66.7	—	—	—	—	—	—	—
935	961	385	904	0.1	—	—	—	—	—	—	—
2,718	3,080	2,236	2,196	3.3	—	—	—	—	—	—	—
2,881	2,022	2,591	1,992	7.8	—	—	—	—	—	—	—
情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	—	—	—	—	—	—	—	—

(5) 【その他施設】

施設の名称	区	所在	運営形態	供用開始年度	竣工年度	経過年数 2020年度時点	施設機能
その他施設 (5)							
白旗山競技場	清田	清田区真栄 502番地1	指定管理	1990	1990	30	<ul style="list-style-type: none"> ●距離スキーコース：25km×幅6m ●フィールド(天然芝)：105×70m×2面 ●ローラースキーコース：約630m
藤野野外スポーツ交流施設	南	南区藤野 473番地1	指定管理	2001	1984	36	<ul style="list-style-type: none"> ●リフト：3基 ・第1ペアリフト：延長428m、搬器72個 ・第1ロマンスリフト：延長600m、搬器87個 ・第2ロマンスリフト：延長438m、搬器64個 ●ゲレンデ ・コース：6コース ・標高差：300m ・最大斜度：38度
藤野リージュ競技場	南	南区藤野 473番地1	指定管理	1968	1970	50	<ul style="list-style-type: none"> ●リージュコース ・全長：1,100m(直線547.3m,曲線552.7m) ・標高差：100.2m ・カーブ箇所：14箇所 ・最大斜度：10°0.9' ・平均斜度：5°42'
スポーツ交流施設 (つどーむ)	東	東区栄町 885番地1	指定管理	1997	1997	23	<ul style="list-style-type: none"> ●アリーナ：11,484㎡ ・野球(軟式)：中堅101m、両翼81m ・サッカー：56m×80m ・フットサル：4面 ・テニス：8面 ●ランニングコース：1周400m ●トレーニング室：240㎡ ●幼児遊戯室(プレイルーム)：33㎡ ●屋外施設 ・テニスコート、球技場、パークゴルフ場、イベント広場
札幌ドーム	豊平	豊平区羊ヶ丘1番地	指定管理	2001	2001	19	<ul style="list-style-type: none"> ●クローズドアリーナ：14,460㎡ ・サッカー(天然芝)：120m×85m ・野球(硬式、人工芝)：中堅122m、両翼100m ●トレーニング室：330㎡ ●屋外サッカー練習場 ・天然芝：105m×68m ・人工芝：105m×68m

その他設備		防災		利用期間	利用時間		土地	
エレベータ	観客席	避難場所指定※ア	避難可能人員		一般利用	専用利用	土地面積(m ²)	駐車場台数
—	—	—	—	6/1～9/30	—	8:30～21:00	85,198	100
—	—	—	—	・フィールド 通年 ・第1～3リフト 12/1～3/31	・4/1～11/30 9:00～17:00 ・12/1～3/31 9:00～21:00	—	329,790	500
—	—	—	—	12/1～3/31	9:00～21:00	—	329,790	500
○	1,200席 ・1階：200席 ・2階：1,000席	指定緊急避難場所 【大火事】	54,552	通年	・アリーナ 5:30～21:00 ・ランニングコース、 トレーニング室 9:00～21:00	・アリーナ 5:30～8:00 9:00～21:00 ・ランニングコース、 トレーニング室 5:30～8:00 9:00～21:00	133,329	306
○	41,484席	指定緊急避難場所 【大火事】	107,888	通年	・トレーニング室 6:00～21:00	・アリーナ 5:00～22:00 (土日祝 5:00～ 22:30)	305,230	1,612 ・一般車両：1,391 ・関係者用：221

(5) 【その他施設】

施設の名称	主建物				建設事業費		
	延床面積 (㎡)	主構造 ※イ	特定天井	耐震性 ※ウ	総建築費 (建築時)	うち用地費	建設費 (用地費除く)
その他施設(5)							
白旗山競技場	1,269	S/RC	無	◎	1,631,334千円	254,000千円	1,377,334千円
藤野野外スポーツ交流施設	1,720	S	無	◎	—	725,011千円	—
藤野リユージュ競技場	120	W,S	無	◎	106,000千円	0千円	106,000千円
スポーツ交流施設 (つどーむ)	19,158	SRC/S	有 2020年度 工事予定	◎	5,600,000千円	4,410,101千円	1,189,899千円
札幌ドーム	98,232	RC,SRC,S	無	◎	53,732,124千円	11,500,022千円	42,232,102千円

利用状況						満足度調査【平成29年度実施】※工					
延利用者 (H28)	延利用者 (H29)	延利用者 (H30)	延利用者 (H31)	床面積 あたりの 利用者数 (H31実績)	利用種目（上位5つ） 【平成29年度実施】 ※平成30年度の北海道胆振東部地震及び、 令和元年度に発生した新型コロナウイルス 感染症（COVID-19）の影響を考慮し、 平成29年度の利用実績を記載	利 用 条 件	利 用 案 内	運 動 器 具	施 設 環 境	ス タ ツ フ	総 合
24,440	19,573	20,794	7,408	5.8	歩くスキークロカン：9,515、 サッカー：6,208	97.5	96.6	98.5	99.3	100	100
リフト延べ利用者数											
889,789	808,029	790,317	341,450	198.5	スキー：802,194	94.7	94.2	97.9	96.4	100	100
698	878	965	576	4.8	リュージュ：878	94.7	94.2	97.9	96.4	100	100
1,120,356	1,078,096	1,194,288	854,257	44.6	展示会等イベント：873,507、 ランニング：69,860、 フットサル22,250、 野球：20,713、 パークゴルフ：18,698	87.9	95.4	71.5	76.3	97.8	94.5
※屋外庭球場利用者は「テニスコート (スポーツ交流施設庭球場)」に計上											
3,126,047	3,046,544	2,796,612	2,921,083	29.7	プロ野球観戦：1,899,849、 コンサート：392,000、 プロサッカー観戦：316,591、 展示会等イベント：137,041、 自主・共催イベント：84,693	調査未実施					

用語説明及び凡例

※ア 避難場所指定

- ・指定緊急避難場所
災害から身を守るため緊急的に避難する施設又は場所である。災害の種類ごと（洪水災害、土砂災害、地震災害、大規模な火事）に指定している。
- ・指定避難所
災害の危険がなくなるまで一定期間滞在し、又は災害により自宅へ戻れなくなった被災者等が一時的に滞在する施設又は場所である。
滞在スペースを有する指定緊急避難場所は、指定避難所（基幹）を兼ねている。

※イ 主構造

SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造

R C：鉄筋コンクリート造

S：鉄骨造

W：木造

※ウ 耐震性

◎：新耐震基準

○：旧耐震基準による建築物。耐震診断の結果、耐震改修の必要性無し

改修済：旧耐震基準による建築物。

耐震診断の結果、耐震改修の必要性有りであり、改修済み

－：建築物なし

※エ 満足度調査【平成29年度実施】

調査概要

- ◆ 調査期間：7日間
- ◆ 調査施設：札幌市内の公共健康・スポーツ施設33施設
- ◆ 調査場所：施設内に専用机等を設置し、各施設の受付または教室にてアンケート調査協力を依頼し、回答記入をしてもらう。
- ◆ 調査対象者：計6,911名
- ◆ 調査方法：選択肢形式の設問、一部自由記述式の質問紙調査。
- ◆ 調査内容：利用形態, 利用時間帯, 利用頻度, 施設設備/サービスに対する満足度, 施設に対する総合満足度など

IV. パブリックコメント手続き

(1) 意見募集実施の概要

(2) パブリックコメントの内訳

(3) 意見にもとづく当初案からの変更点

SAPPURO